

建築と社會

昭和24年3月19日第3種郵便物認可 昭和28年2月25日印刷 昭和28年3月1日發行

The Architectural Association of Japan

新建築紹介

THEATER ARTS CENTER.....	3
THE NEW CASE STUDY HOUSE	7
HOUSE BY CRAIG ELLWOOD	8
帝國銀行夙川寮.....	9
室町物産株式會社大阪支店	11

記事欄

ヨーロッパの住宅建設と戦災復興.....尾崎久助...	14
基礎の新しい試み(脚壁つき浮面基礎の話).....高橋慶夫...	20
私たちの建築史(3).....林野全孝...	25
ドライフイットに就て.....日野勝好...	37

築畑室

仕事の速さ.....若木望太郎...	27
--------------------	----

會務	28
----------	----

日本建築協会

Vol. 34
1953

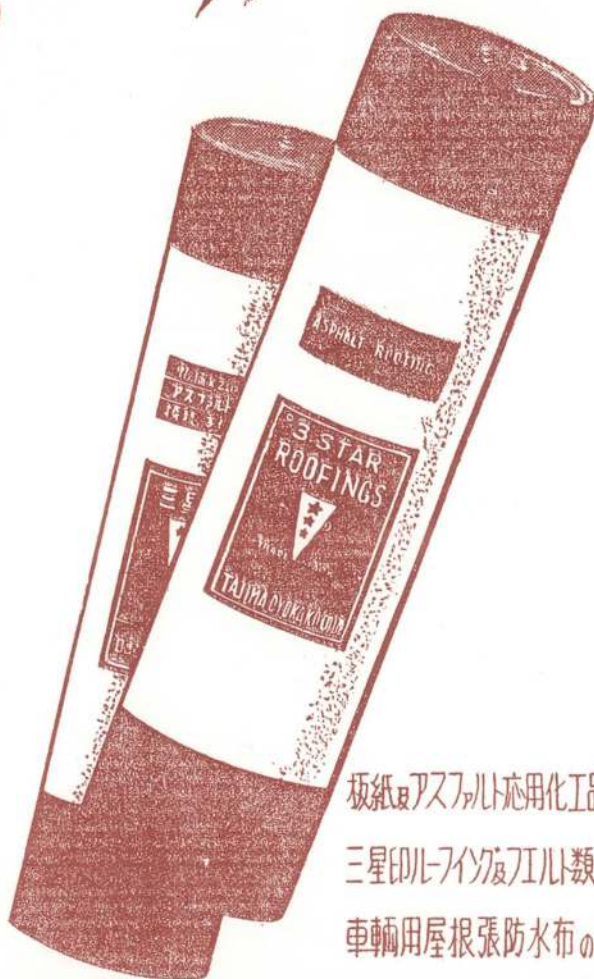
3

田島応用の

三星印



ルーフイング



● 未だアメリカ品に劣る臭もないとは言へませんがS.P.BとJ.L.Cに当社品を数十万本（本）納入してまだ二度もクレームの無いことは世界的水準に達してゐることの証據です（登録商標専売品）殊に防水工事には、**ギルソンド石綿ルーフィング**及**アスベストフェルト**をアメリカ品にも遜色のないものと自負して御薦めします。

板紙及アスファルト応用化工品の製造

三星印ルーフィング及フェルト類の製造

車輛用屋根張防水布の製造

三星印アスファルトタイル製造元

田島応用化工株式會社

東京・足立区小台 TEL.王子(81) 5171~5175 夜間代表 5171

大阪・西区京町堀上通 TEL.土佐堀(44) 0809・0810・1773

会 告

三 月 定 例 午 餐 会

3月定例午餐会は建材部門の幹旋によつて下記の通り開催いたしますから多数の御参加を望みます。

月末御多端の30日を選びましたことは、当日が本会の創立記念日に当たりますので、この記念日を自祝する意味も含まれておりますことを御高承の上、何卒御繰合せ多数御参加下さい。

1. 日 時 3月30日(月) 午前11時30分集合
1. 会 場 大阪瓦斯ビル食堂(8階)(御堂筋、平野町西角)
1. 会 費 300円也 前納をお願いします。
1. 講 演 時局問題につき朝日新聞論説委員竹中一雄氏を煩す予定。
1. 申込締切 28日までになるべく会費を添えてお申込下さい。

地 質 調 査 図 表 出 版 の 件

予告中の大阪中心地質調査図表は当初の発表より図表原稿著しく増頁となり目下整備中で4月中には刊行できる見込みでありますから予約申込の各位には出版遅延の事情何卒御諒承願います。

尚予告の定価も増頁のため自然変更の余儀なきに至りますことを併せて御諒承下さい。

◎予約申込受付中(出来上り定価凡 1,200 の予定) 会員割引する

B5型 大阪市内 110頁 426本 その他 60頁 153本 附図 各市各区毎に見取図、地帯力
凡例その他 凡そ 250頁(当初予定約180頁)

建 設 資 料 便 覧 発 行 予 告

本会は昭和9年より朝日ビル4階に総合建築資料常設陳列場を開設、130余の小間に材料を陳列公開し、尚型録等も屢々発行して聊か斯界に貢献を続けてきましたが、昭和18年大東亜戦争激烈となるに及んで閉鎖しました。

戦後は戦災都市の建設に伴い資材の復興状態を速早く世に公にせんと企画を進めましたが、偶々東都に於ても同じ企画で出版のこと発表されたので本会は遺憾ながらこれを見送ることとし、その後新に検討を加え今般創立35年記念事業の一大項目として発行企画をたてた、この便覧は従来発行のこの種資材の単なる型録的集成法を廃し、設計上にも工事施行上にも役立ち且つ材料の選択や購買等の羅針板ともなる様集し、実務家の好伴侶になると共に、併せて学校教育上の副教材にも提供したい目的を以て建設資料便覧と題しB列5号型400頁内外のものを、仮設工事より完成まで凡そ20数種目の工事別に区分し、各部門の権威者並に業者に托して梗概を記し、尚推奨に値する関係業者の名簿を列記する外、更に拡く一般業者の広告も集録し、出来得る限り夫々の仕様書、説明書、規格等必要事項を網羅し簡結にして要領を得た資料便覧の刊行を期しております。

就ては会員各位の御協力を切にお願いすると共に、特に建材その他関係業者の方々には絶大な御共鳴と御支援を熱望いたします。

尚近く委員、事務局職員の外、大学生アルバイト等(嘱託バイトは証明持参)を嘱託として関係方面を訪問の予定でありますから宜敷く御配慮御指導をお願い申し上げます。

◎本書発行は10月を目標とし原稿締切は4月末を予定しております。

創立35年記念事業出版部長 尾崎久助

事 業 資 金 寄 附 受 領 の 件

本会名誉正会員故日高胖氏嗣子日高輝殿(日本興業銀行常務取締役)より今般故人の御遺志に基き本会事業資金として金20万円也御寄附を受けました。

本会では有難く受納の上日高胖氏事業基金として故人の御遺志を体し将来有益な事業費に充当することといたしました。

日 本 建 築 協 会



故 名 誉 正 会 員 日 高 胖 君

本会名誉正会員日高胖君予て御静養中でありましたが、薬石効なく昭和27年12月24日78才の天寿を以て遂に逝去されましたことは洵に痛惜の至りに堪えません。

君は本会創立当時より会員として尽力せられ、爾来副会長、理事、評議員、委員等に就任、本会今日の隆盛に寄与された功績は実に大なるものがありましたが、病のため忽然として不帰の客とされましたことは誠に痛恨追慕の念禁じ難いものがあります。茲に故人の肖像と御略歴を掲げ謹んで哀悼の誠を捧げ遙かに御冥福をお祈り申し上げます。

1. 君は明治8年6月15日日高圭三郎為喜氏（新見豊前守を正使とする第1回遣米使節団に御勘定方御徒目付として随行）の次男として東京に生る。
1. 明治33年東京帝国大学工科大学建築学科を卒業後直ちに住友家の建築部に入る。
1. 故辰野金吾工学博士の高弟としてアール・ヌーボー式建築の設計を説き明治41年欧米に学ぶ。
1. 大正7年再び欧米を視察し帰朝後現在の住友銀行日本橋支店（元東京支店）の建築設計にその心を傾く。
1. 昭和6年住友本社工作部長を辞し株式会社住友ビルヂング取締役役に就任されたが、その全生涯を住友関係の建築設計に終始し、特に先代住友吉左衛門男爵の知遇を得た。
1. 昭和21年10月10日本会総会の議決を以て名誉正会員に推挙せらる。
1. 昭和24年元日本建築士会の名誉会員に推薦せらる。
1. 昭和27年12月24日鎌倉市腰越町の自宅に於て逝去せらる、享年78才。

因に告別式は昭和27年12月27日東京芝増上寺に於て莊厳に執り行われ、本会よりは竹腰会長が特に列席の上下記弔詞を朗読された。

弔 詞

時昭和27年12月24日本会名誉正会員日高胖君忽然として逝去されましたことは誠に痛恨の極みであります。君資性温厚の君子人でありまして接する者齊しく敬慕の念を深くし、夙に関西建築界に重きをなし建築界の進歩発達に心を寄せておられましたが、偶々大正6年本会が孤々の声を上げるや故片岡先生外30余名と共にその創立のことにあたり理事となり建築界の革新を以て関西の一角にその旗幟を樹て蘊蓄を斯界のため尽されました。

大正15年本会が社団法人となるや初代副会長に選任され、昭和4年、6年再選本会の枢機に参画多年に亘り残された業績は多大なものがあります。

昭和21年既往の功績を称え名誉正会員に推薦され今日に至りましたが溘焉として他界されましたことは痛惜哀悼に堪えません、茲に生前の御功績を感謝し会員一同を代表し謹んで御冥福を祈りお別れの言葉といたします。

昭和27年12月27日

社団法人 日本建築協会

会 長 竹 腰 健 造



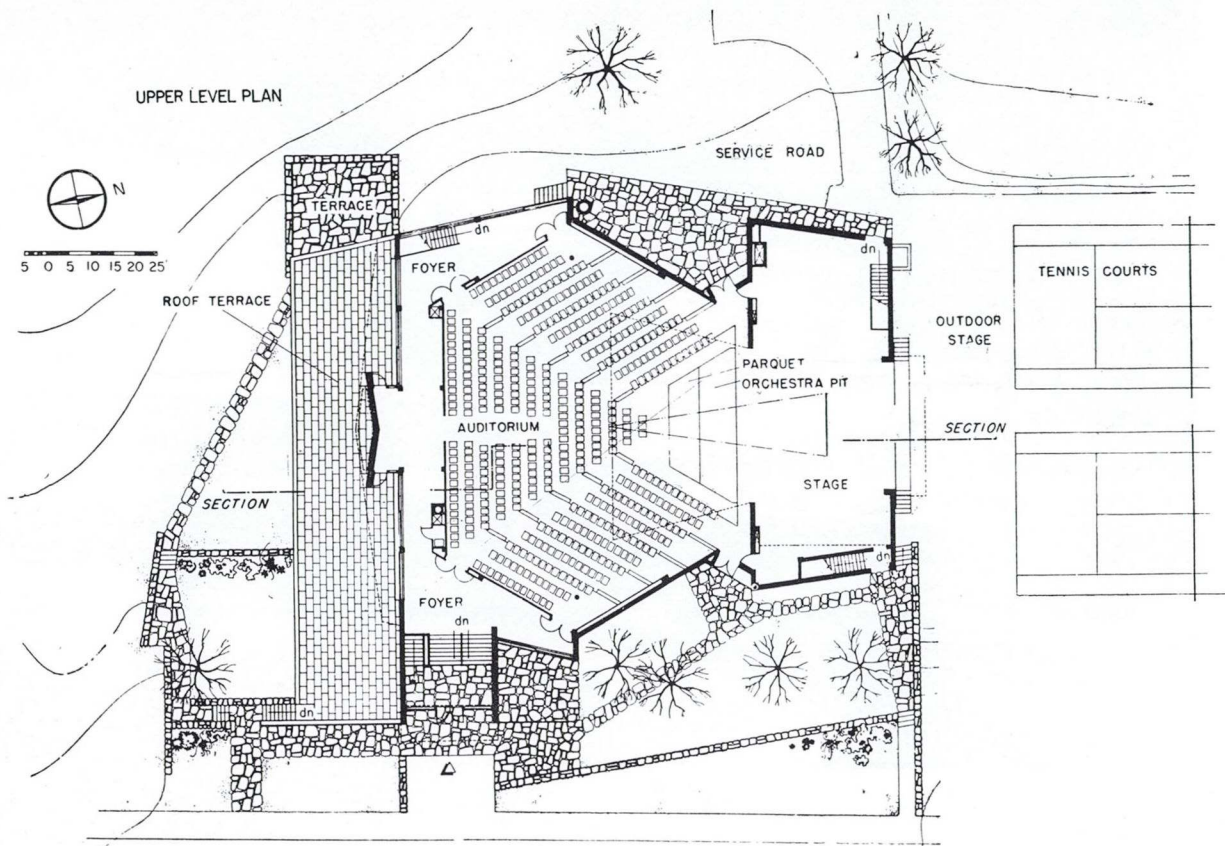
THEATER ARTS CENTER

設 計 MARCEL BREUER

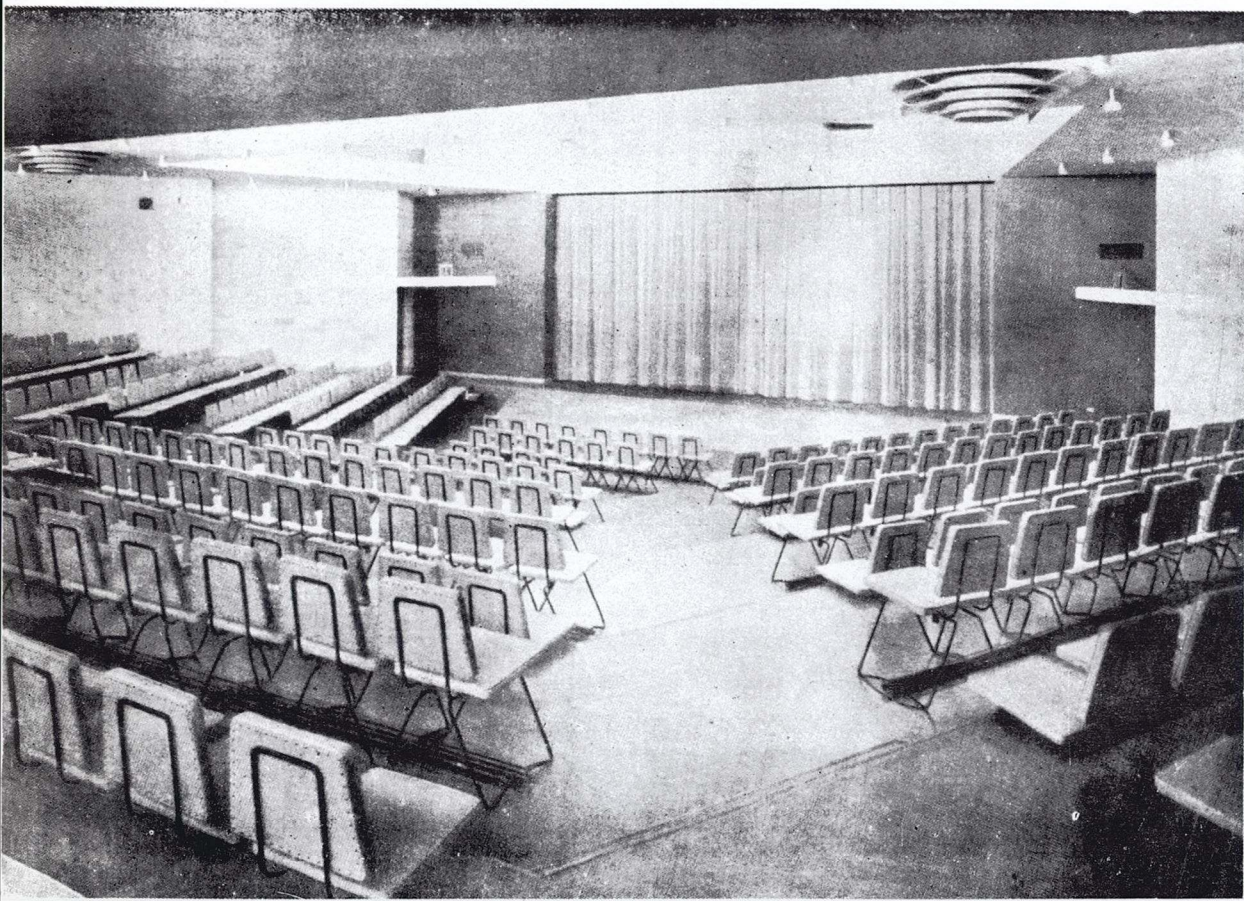
構 造 FARKAS & BARRON

(forum, 12, 1952)

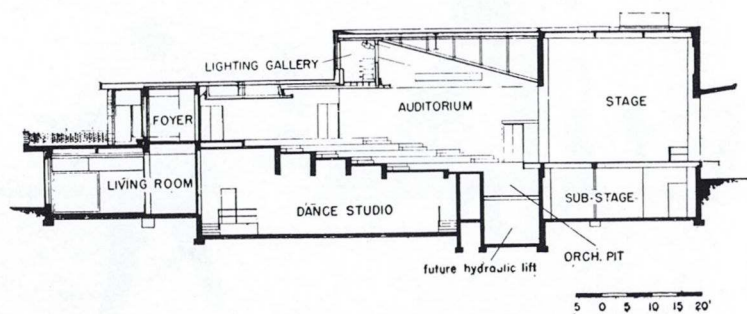
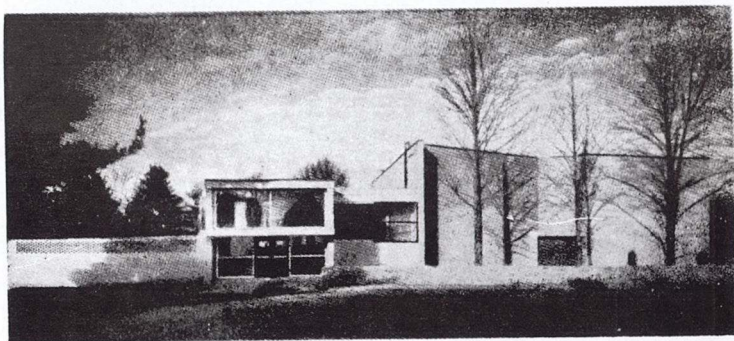
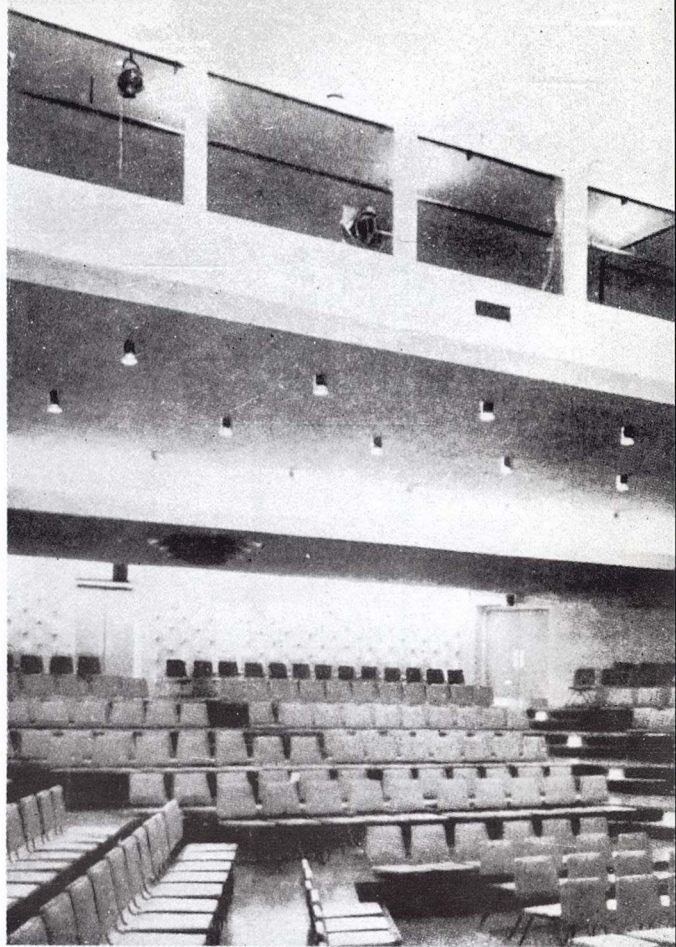
ニューヨークの Sarah Lawrence 単科大学の芸術劇場である。Breuer は、むじゆんした材料の統一と、単純な材料から素朴な美を学ぼうとしている。平面始め所々に見られる自由な手法も面白い。本文のサブ、タイトルに次のように書かれている。——複雑な問題を解く方法は単純にすることである——と、当たり前ですが……。



500人用のシートが、アリーナ形式に並んでいる。ステージの后部の大扉を開けると、夏向きの舞台となる。このときは、シートを後のテニスコートに並べる。又低い方のシートを、一列おきに取除くとテーブルを置ける。



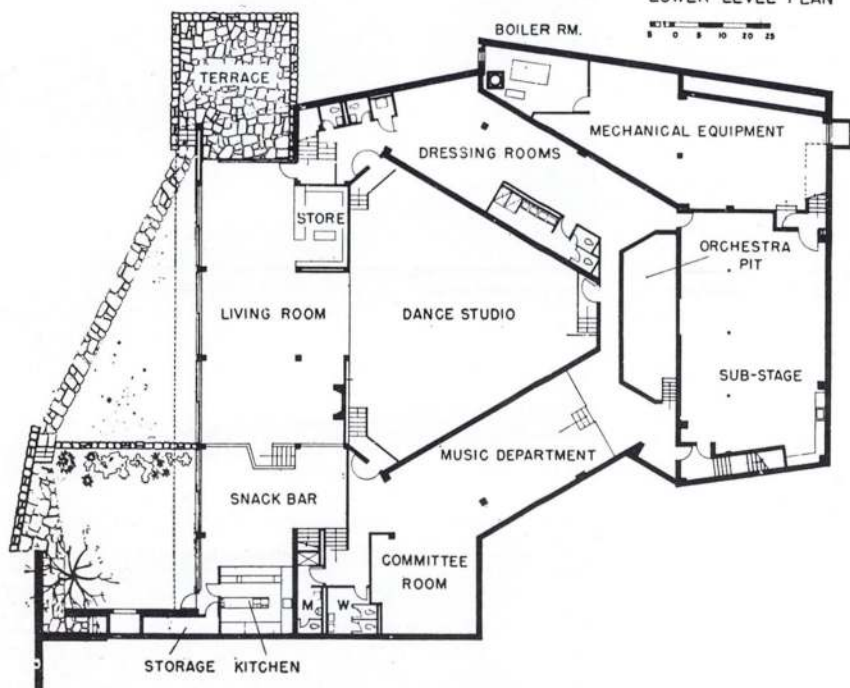
上部は、長大な照明用ギャラリーになつている。
AUDITORIUM の照明は、直下光線用と、間接的な
溢光の二種ある。後壁の模様のようなのは音響に対す
る考りよが弘われている。＜下図＞左側が主玄関、右
が劇場である。



左の断面図で、照明廊、下の
ダンススタジオとオーデトリ
ウム間の構造、ステージとサブ
ステージとの関係（はねぶたで
大道具等を運ぶ）、グランドライ
ンとの関係等が知れる。

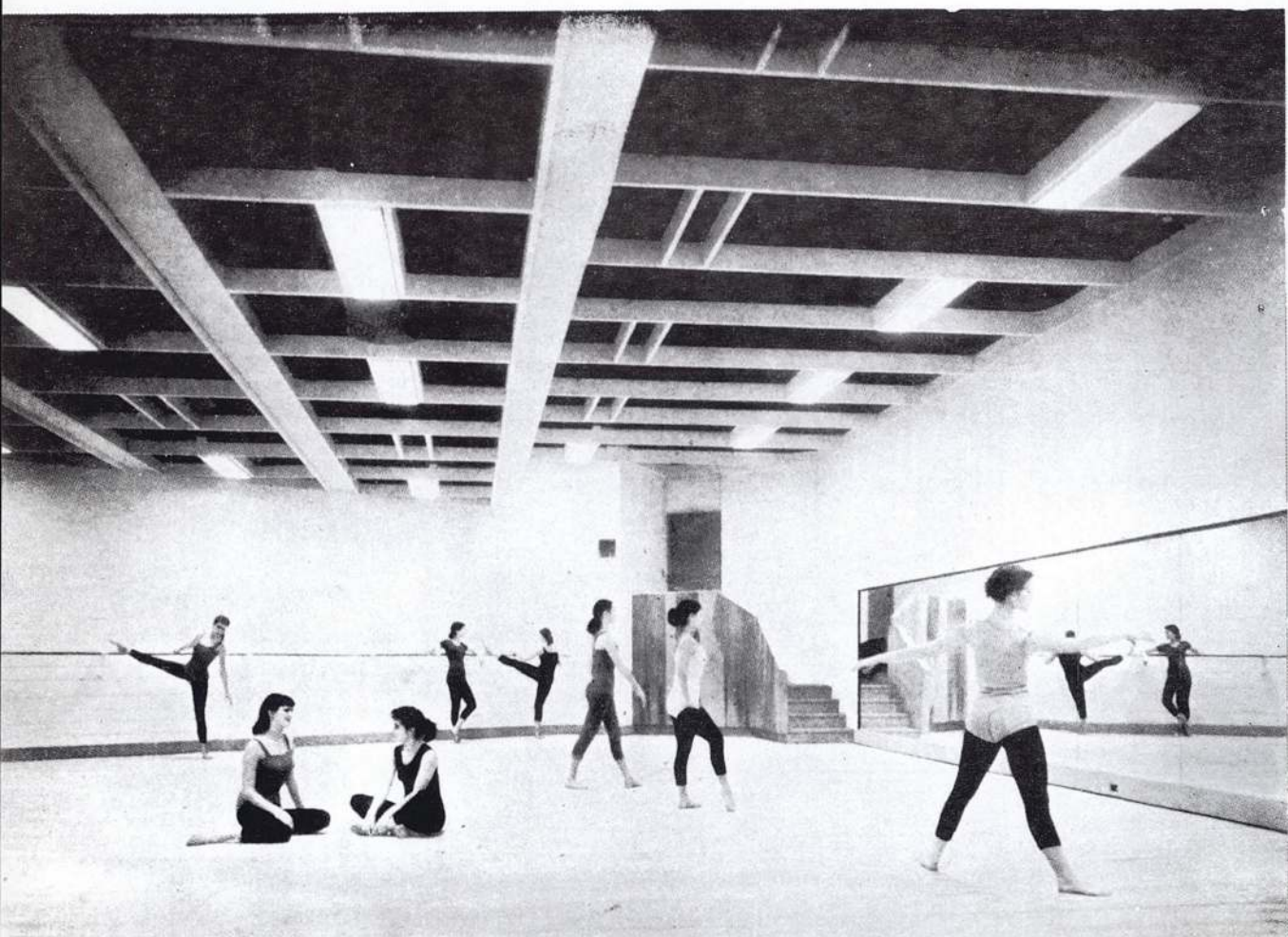
LOWER LEVEL PLAN

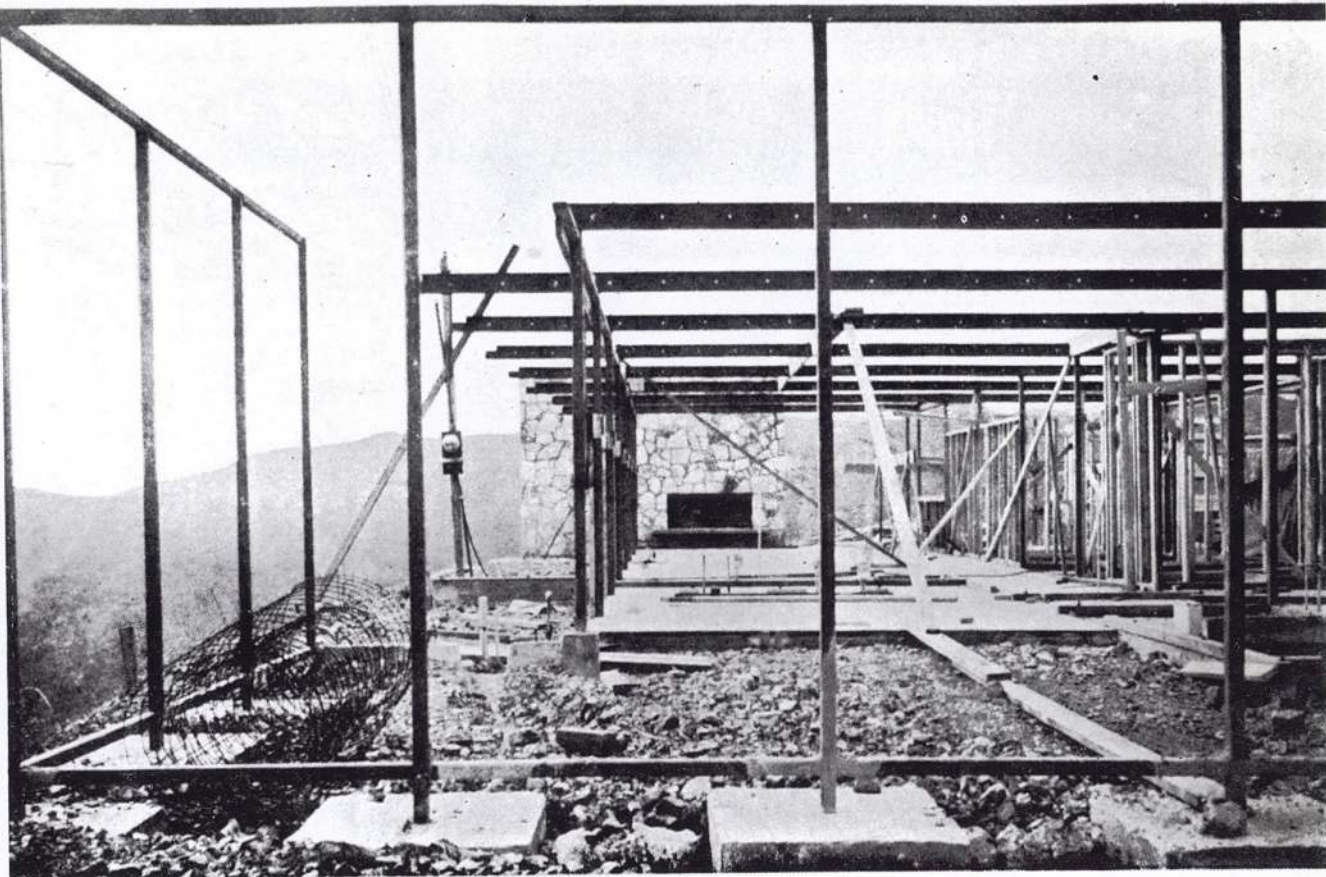
0 5 10 20 25



プランの左にある Living Room は、南向きでガラス壁から成る。住居のように家具を置き、ストアやバーをもつ。立派なダンススタジオを中央に、種々の設備が合理的に配置される。

(林野)





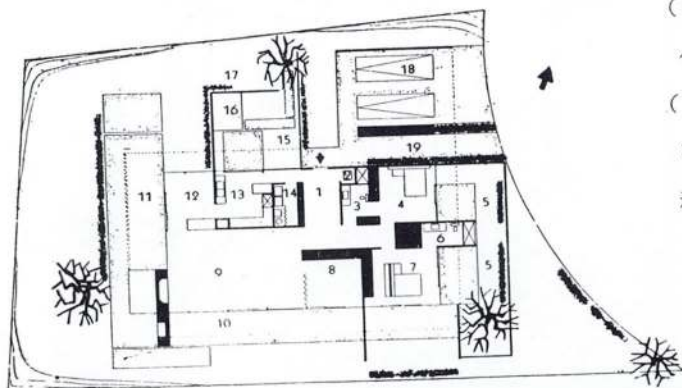
THE NEW CASE STUDY HOUSE

設 計 CRAIG ELLWOOD

構造、経済、美を一つにして建築の有用性に融合させようとしたのが、此の近代住宅である（面積約 1600 ft²）南に街と海、西に山と谷の眺望をほしいままにする丘の上に建ち、自然が室内にとけ込んで来る様な大きなガラス窓がめぐらされている。此の家の特徴は、さきに発表された此の種住宅が、H形鋼柱、木製梁の使用であつたのに（後頁参照）これは 2 1/2" 口形鋼柱、Kaisev の b' I 形鋼の軽量な梁が使用されていることである。

此の柱と梁の選定で

（1）重量とコスト；総重量約3000#, 工費凡そ \$ 600が軽減される。



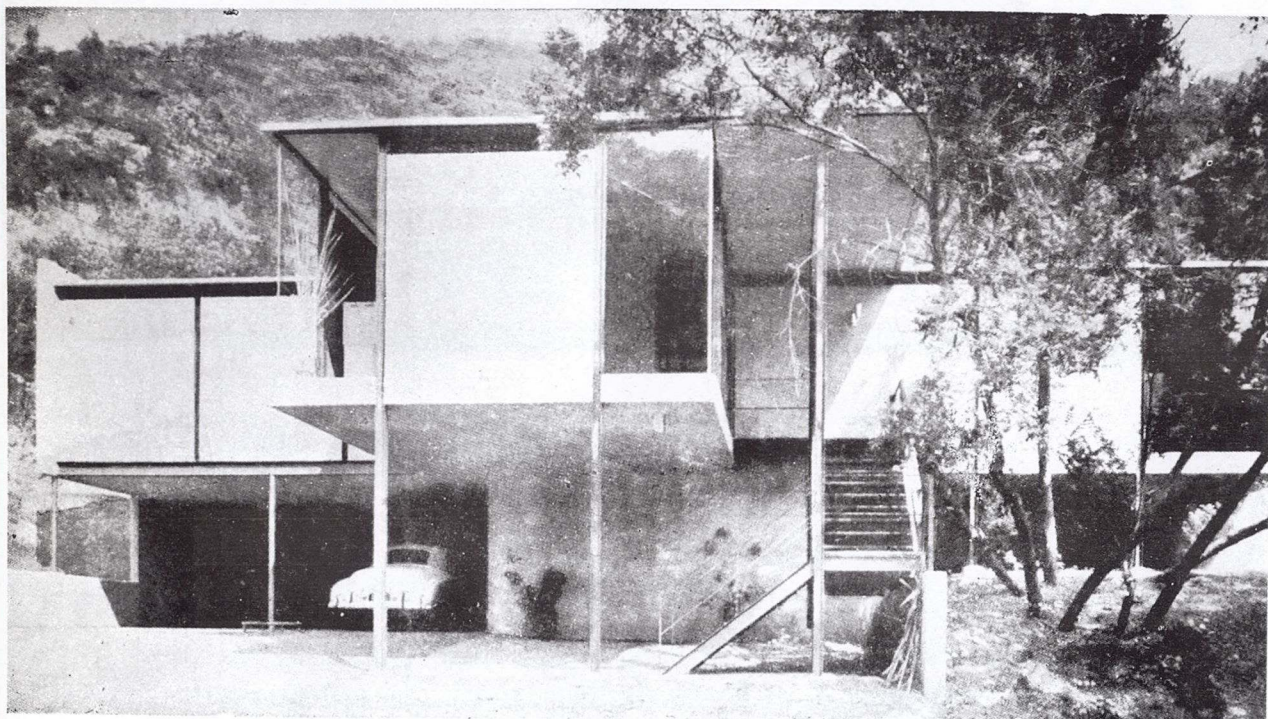
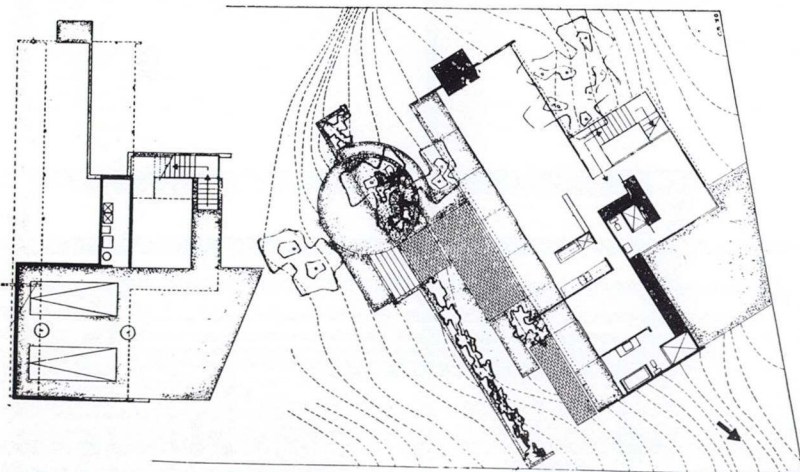
（2）詳細部；はめ殺し窓、扉の枠等の等付は簡易化され、雨仕舞いも良好である。

（3）美的価値；口形柱によつて構成される構造的な線は、上の詳細部の構成と相俟つて、美しい造形の線と面と空間に画き出そうとしている。（上田稔）

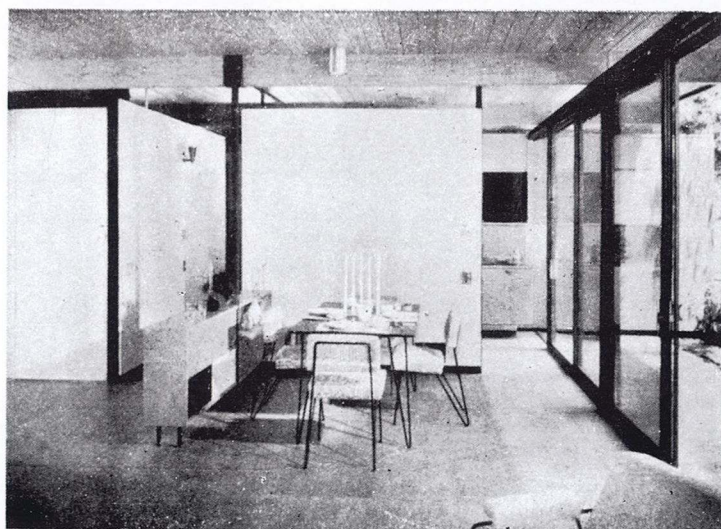
HOUSE BY CRAIG ELLWOOD

ARTS & ARCHITECTURE

10.1952



木深い狭谷の中の、ゆるやかなスロープをもつ敷地。こゝに適合した構造で、適合したデザインをもつて建てられている。構造は、標準化されたH形スチールビームと、パネルから成る。梁は4'×10'の木材が使われているのは面白い。下図の中央のスチール柱が、木梁を支持しているに注意。壁は全て、ドアや窓でぬかす、大きく開く。のびのびした平面、パネルによる簡単な間仕切、室と庭とは広いガラス壁が続いている。照明は全て関接、尚H形ビームを、ELLWOOD は後に否定している。(前頁) (林野)



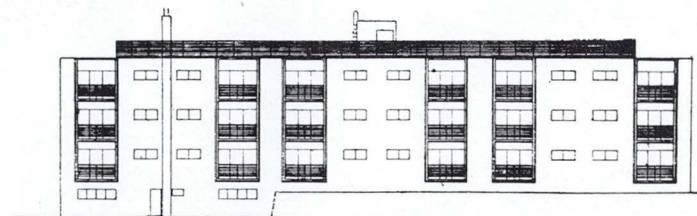
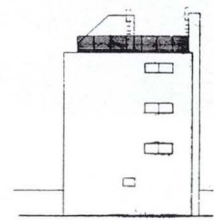
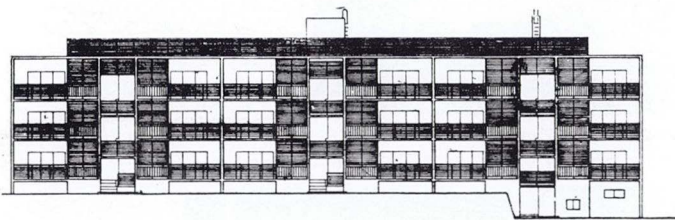


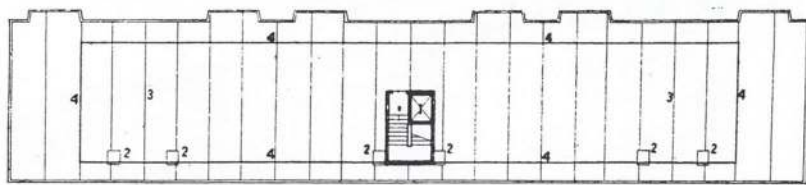
着 工 昭和27年 7 月10日
竣 工 昭和28年 1 月15日

帝 國 銀 行 夙 川 寮

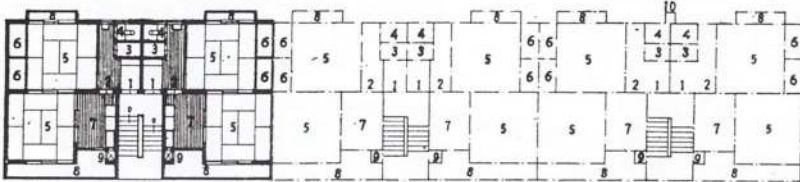
建築面積 建坪 88.128坪 延坪 325,750坪
階 数 地下1階（一部）地上三階
軒 高 地盤面ヨリ 29.0尺
構 造 鉄筋コンクリート造（壁構造）

建築位置 西宮市木津山町二三
設 計 平田、松田建築事務所
管 理 帝国銀行不動産課
施 工 株式会社 竹中工務店

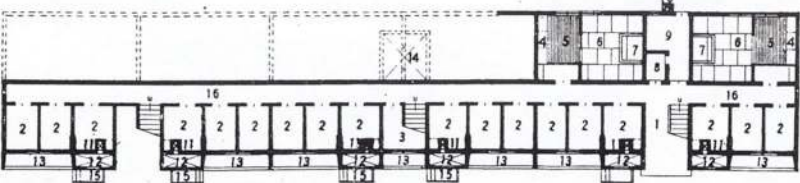




1階平面図



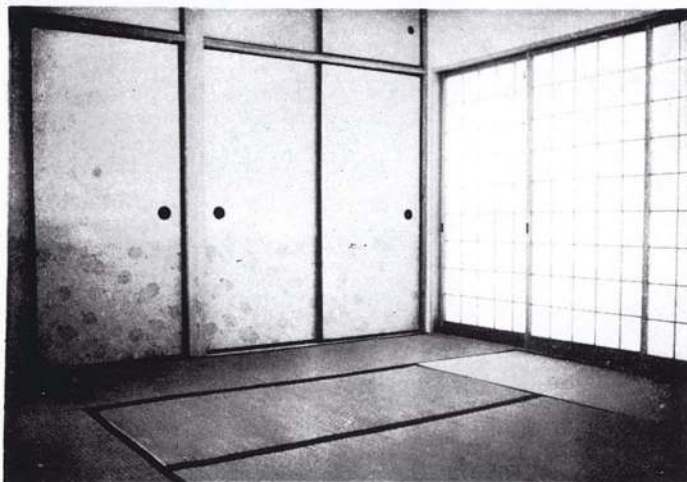
2階平面図



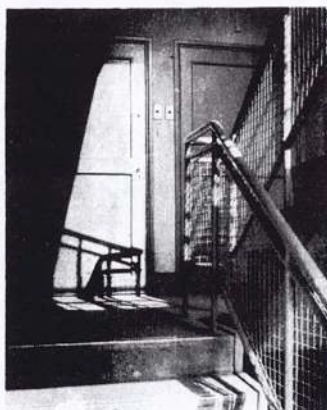
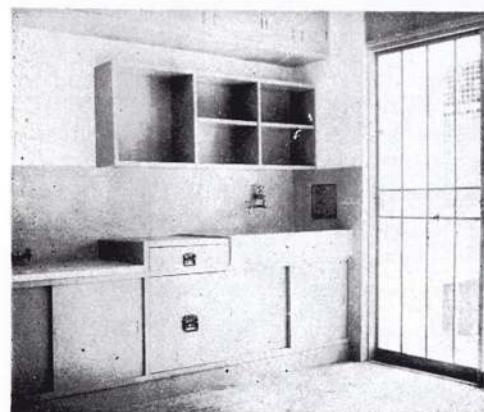
平面図説明

階	1 水	槽
	2 ダストシートの臭気	上
	3 屋	上
	4 グリンプアミ	欄
1 階	基準	
	1 玄	閣
	2 廊	下
	3 物	入
	4 便	所
	5 居	間
	6 押	入
	7 厨	房
	8 ベ	ー
	9 ダ	ー
	10 煙	突
地	階	
	1 ス	ロ
	2 食	ー
	3 ポ	ブ
	4 脱	衣
	5 浴	室
	6 石	炭
	7 ボ	イ
	8 煙	突
	9 ス	ト
	10 ダ	ス
	11 ド	ス
	12 水	取
	13 ダ	出
	14 廊	口
	15 廊	下

内 装



室名	床	巾 木	腰	壁	天 年
各階玄関	モルタル	モルタル		漆喰	漆喰
「廊下	檜 甲板	一部檜		同上	同上
「八帖	タタミ			同上	同上
「合所	檜 甲板	一部人造研出		同上	同上
「バルコ	防 水			同上	同上
「ニ	モルタル			同上	同上
「便所	檜 甲板	檜	空 板 貼	同上	同上
「物置	檜 甲板	檜		堅板貼	同上
「階段	モルタル	モルタル		モルタル	同上
地階浴室	人造石研出	目地切	人造石研出	漆喰	同上
「脱衣室	檜 用 板	檜		同上	同上
「ボイラ	モルタル			モルタル	モルタル
「一室					
「倉庫	モルタル			同上	同上
「廊下	モルタル			同上	同上
「階防	水			防水モ	同上
「タンク室	モルタル			ルタル	



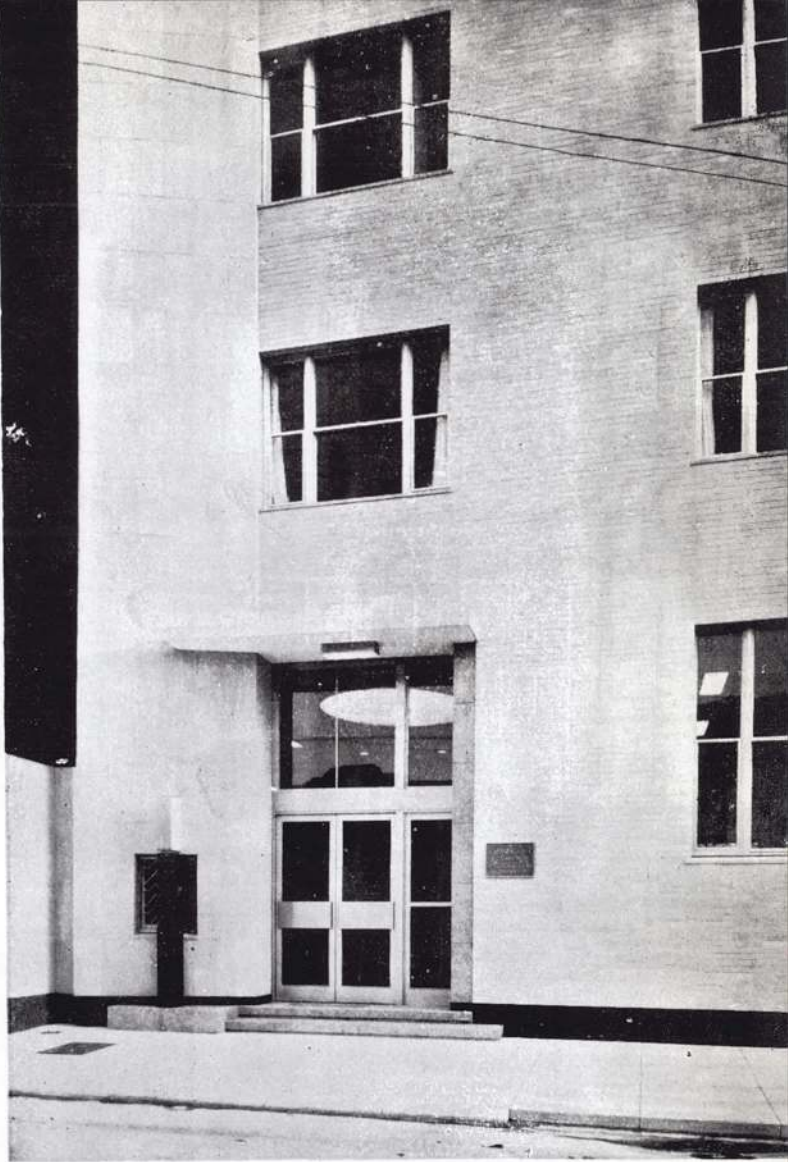
工 事 概 要

基 礎	鉄筋コンクリート
	布地形
主 体	鉄筋コンクリート
外 装	色モルタル カキ
	落シ
陸屋根	防水モルタル塗目
	地切

室町物産株式会社
大 阪 支 店

設計管理 山下寿郎設計事務所
施 工 株式会社 竹中工務店

建 築 面 積
1 階 470.37平米 (142.50) 坪
計 1946.85平米 (590.00) 坪





上 1階玄関ホール

床、人造石研出真鍮目地入、踏込、万成石小磨仕上
階段、トラパーチン貼壁テラゾーブロック貼一部ニ
ツチ大理石貼、階段手摺、真鍮ホワイトブロンズ仕
上、天井、漆喰ビニローゼ塗仕上

工事仕上げ概要

外 装 ポーチ及床正面道路側パーキングス
ベース、人造石研出目地切、玄関前段石、花崗
石水磨キ仕上ゲ

外 壁 道路側タイル貼2丁掛軸掛け一部玄
関竜山石貼幅木黒御影石貼、バラベツト笠石テ
ラゾーブロック

陸 屋 根 アスファルト防水層クリンカータイ
ル貼

非 常 階 段 ドライエリヤ床、防水モルタル塗



写真説明 上より

1、2階事務室

間仕切塩地クリヤラツカー仕上

2. 1階事務室

床リノリウム貼壁プラスター塗ビニローゼ塗仕上
天井テックス貼水性ペンキ塗仕上

3. 支店長室

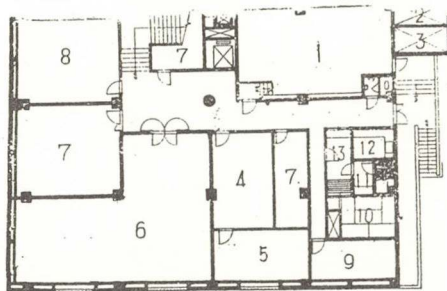
床絨氈敷込、壁漆喰塗ビニローゼ塗仕上、家具チー
ク製

内 装 仕 上 表

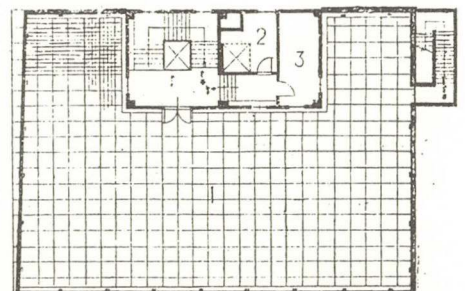
階	室名	仕上箇所	床	巾 木	腰	壁	天 井	階	室名	仕上箇所	床	巾 木	腰	壁	天 井
地 階	合 電 庫	モルタル塗	煉瓦二重壁	モルタル塗	漆 喰 塗	漆 喰 塗	漆 喰 塗	1 階	便 所	モザイクタイル貼				タイル貼	同 上
	電 池 室	アスファルトモルタル塗	同	上	同	上	同 上		湯 沸 室	人造石研出(目地入)		モルタルペンキ塗(高1100)	ガラスター	同 上	同 上
	女子更衣室	色モルタル塗	同 上 人造石研出	同 上 モルタルペンキ塗(高1100)	同 プラスター塗	上 二重天井 漆 喰 塗	同 上		守 衛 室	同 上	人造石研出		同	同 上	同 上
	ボイラー室	モルタル塗			防水モルタル塗及モルタル塗	モルタル塗			休 食 室	榻 榻 敷			砂 壁	卒 縁 天 井	
	炊 事 室	色モルタル塗	人造石研出	モルタルペンキ塗(高1100)	プラスター塗	二重天井 漆 喰 塗			廊 下	人造石研出(目地入)	人造石研出	モルタルペンキ塗(高1100)	ガラスター	漆 喰 塗	二重天井
	小 使 室	榻 榻 敷			同	上 二重天井 卒 縁 天 井			ガ レ ージ	モルタル塗		同	同 上	同 上	同 上
	浴 室	モザイクタイル貼		タイル貼(高1100)	同	上 二重天井 漆 喰 塗			事 務 室	リノリウム貼	木 ベンキ塗		ガラスター	同 上	同 上
	脱 衣 室	榻 榻 フローリング貼	木 ベンキ塗		同	上 同 上			便 所	モザイクタイル貼			タイル貼	同 上	同 上
	宿 直 室	榻 榻 フローリング貼	同 上		同	上 同 上			湯 沸 室	人造石研出(目地入)		モルタルペンキ塗(高1100)	ガラスター	同 上	同 上
	便 所	モルタル塗		人造石研出(高1100)	同	上 同 上			化 粧 室	セラゾー真鍮目地入	セラゾーブロッタ		タイル貼	同 ベンキ塗	上 塗
	廊 下	同 上		モルタルペンキ塗(高1100)	同	上 漆 喰 塗			電話交換室	榻 榻 フローリング貼	木 ベンキ塗		ガラスター	漆 喰 塗	二重天井
	玄 関	花崗石水磨仕上げ	大理石貼		大理石貼	二重天井 漆 喰 塗			廊 下 室	人造石研出(目地入)	人造石研出	モルタルペンキ塗(高1100)	同	同 上	同 上
	廣 階 間 室	周囲ボーダー・トラバーチン・テラゾー・真鍮目地	同 上		同	上 同 上		2 階	タンク室	防火モルタル塗	同 上		モルタル塗	漆 喰 塗	
	事 務 室	リノリウム貼	木 ベンキ塗		ガラスター	漆 喰 塗 (二重天井)			廊 下	人造石研出(目地入)	同 上		ガラスター	同 上	同 上

平 面 図 説 明

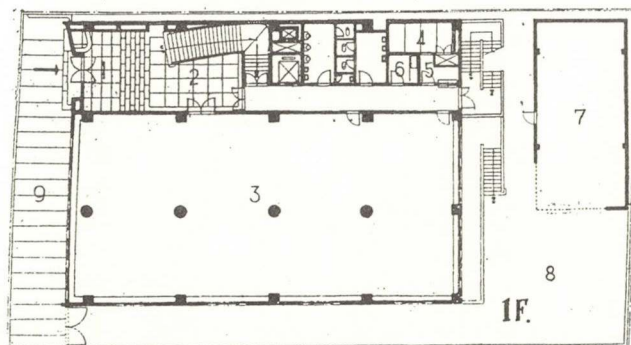
- 地 階 1. ボイラー室、機械室 2. 灰置場 3. 石炭置場 4. 電気室 5. 電池室 6. 書 庫 7. 倉 庫 8. 女子更衣室
- 1 階 1. 玄関 2. 広間 3. 事務室 4. 休憩室 5. 受付 6. 湯沸室 7. ガレージ
- 2 階 1. 事務室 2. 幹部室 3. 支店長室 4. 応接室 5. 化粧室 6. 湯沸室
- 屋 階 1. 露 台 2. エレヴェーター機械室 3. タンク室



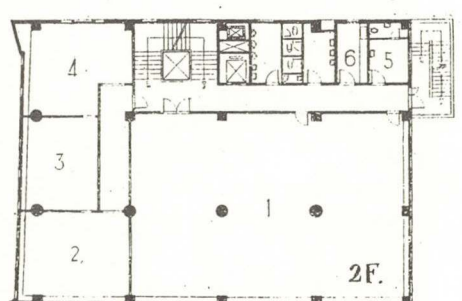
-1F



4F



1F



2F

ヨーロッパの住宅建設と戦災復興

尾崎久助

9月14日午前2時羽田を飛び立つた飛行機は、15日12時20分（日本時間）死海の上を通過していた。それから間もなく白壁赤屋根平家の新築らしい小住宅群が明かに新都市計画の形跡を示して広大な地域に点在して居るのが見おろされた。土地は不毛のゆるい丘陵地らしく所々岩が頭を出して居るが、住宅群の近くには耕地や果樹園らしいものも見える。間もなくイスラエル共和国最大の都市ヤッファ・テル・アヴィヴに着陸した。空港の建物は鉄筋コンクリート造（勿論煉瓦混用であろう）外部白色モルタル塗、内部クリーム色ペンキ粗面仕上でペンコグ、カルカッタ、カラチと大同小異の大したものではないが、そのアプローチも飛行場側も植樹や花壇で仲々美しい。ゴミゴミした所を通らねばならぬ羽田はこれらのだどこにも劣り、はづかしくて外国人には見せられるものでないと思つた。私はリスボンで開かれる第21回国際住宅及都市計画会議に出席する途上にあつたので、このイスラエルと云う我々には親しくない、小国の都市計画住宅建設を而も上空から一眸の下に見下し得たので会議に出る前に先ず多大の感興を覚えた。

テル・アヴィヴを出発した機は街の上を通過して岩礁も透つて見える青々としたきれいな地中海上に出た。下の街は白ちやけた新開地らしかつたが、4、5階建もあり鉄骨だけ建つた高層建物やスタジアムも見えた。後のことだが会議の展示会には、イスラエル国の都市及国土計画局から都市の発展の第1段階をなすものとして16のパネルが出品してあつた。

テル・アヴィヴはもとユダヤ人の居住地として発達して居たが、1917年英国がユダヤ人の国をパレスチナに作らせる事を約したため其後パレスチナにユダヤ人の移住する者が増加し、テル・アヴィヴはその中心となつて1931年に僅か4万6千であつた人口が1946年には18万3千となつた所である。イスラエルの国そのものも1948年の独立宣言以来人口が著しく増加し、最近6年半に78万5千人から160万人になつたとの事である。又国の社会的経済的構造に大きな変化が起つた。それでそれらが当を得た背景とならなければ「流浪者の受入れ」は固らない訳でもあり、又こんな小国（国家計画としての人口を280万と考えて居る）では無計画な発展の誤謬を許す余裕がないと云うので、確乎たる根本計画が要求されたのだと展示図表の説明にも書いてあつた。ユダヤ人国の新

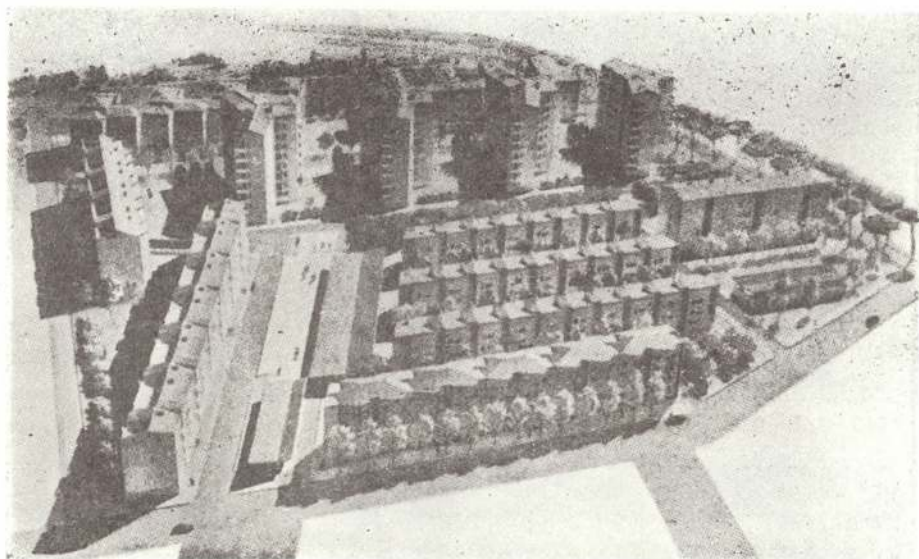
興のすさまじい意気が十分に示されて居たと云うべきだ。後にニューヨークへ行つて知つた事だが、同地の或る建築事務所は此処に事務所を持つて居るとの事であつた。

羽田から正味42時間45分かかつて15日の午前11時45分（イタリア時間）にローマに着いた。

ローマの上空にさしかかつて先ず目に止つたのはアパートらしいモダンな高層建築群であつた。果して空港からタウンターミナルへの間の郊外には多数の新築らしいアパート群が見られた。翌日は幸いローマ市建築局長に会えたので市営アパート建設実況を見せてもらった。市営のは労働者住宅でなく一般人向であるとの事であつた。構造は内部は細い鉄筋コンクリート架構を作つて空洞煉瓦積の壁を作り、外壁は架構を作らず主要部を空洞煉瓦積にして中間を野石積にし、而も何れが火山灰を主にしたものらしいもので積み、床はピアノ線入りプレコン小梁の間へ空洞煉瓦を並べ、屋根は木造と云う日本では真似られぬ脆弱構造で、外壁色モルタル、内壁プラスチック仕上である。併し細い戸全部鉄筋コンクリート架構にしたのやメーゾンリーに臥梁だけ廻したのも見受けられた。だからして建築費は余程安い筈である。併し56階建が多く、その建築規模の大きいものには驚いた。かかる次第で工事費も安そうであるのだが、ローマの人は家賃が高く仲々入れず依然として住宅難であると云つて居た。尤も日本の様に建築費の半額を国家が無償支給して居る様な事はないと聞いた。

イタリアで有名なのはマーシャルプランの援助によつて国が建てて居る労働者住宅で、イナカーサ（カーサは家）と呼ばれるものがある。この企画は建築費に対して政府が干渉することによつて国の生産活動の再興を勇気づけ、それを失業対策とも為さんとするもので、1949年の法律によつて「労働者住宅の7年計画」として定められて居るものである。そしてイタリアの市町村7,666中の4,200に18万戸、90万室を3千億リラ（リラを約60として1,800億円）で建ててやろうと云うので、政府が3分の1を支出し、残りを使用者側2、労働者側1の割合で拠出するとの事で、25年後には居住者の所有になる仕組である。住居単位は台所、便所の外3室（使用面積20坪余）で家賃月額2500乃至4000リラ、分割払購買式の場合は4000乃至7000リラになつて居り、工事費は最高49万

ローマのアパート



リフと押えてある。

序の車からローマの新駅が周知の様にモダンでさすがイタリアと思われるロマンチックな美しいデザインであるのに対してアパート建築は格別目新しいデザインのものは見なかった。

9月20日朝7時15分(夏時間)ローマから7時間を費してリスボン着、空港は今迄のうち1番立派でターミナル迄は15分もかからなかった。その間は整然たる住宅街、アパート街で幅広の坦々たる美しい並木道であるのに先ず驚かされた。

翌21日会議はメンバーの登録、図書受取りから始まりその晩は会議構成委員会主催にかかるカクテルパーティが市の中心地にあるフオヴ宮と云うバロック式の建物内で催された。その翌日は午前中に公式開会式がポルトガル共和国大統領の名に於て又その臨席を得てベント宮と称せられるルネッサンス式の国会議事堂で行われ、午後から直ちに討議と展示会が始まった。会場は工科大学であつたが、新しく出来たらしく、まだ植樹もして無いけれども建物配置、校庭の整備等々美しく、建物そのものも、玄関広間其他に大理石を沢山使つてあつて、日本でもせめてこの位の校舎がほしいと思つた。門から上つた所、正面玄関前に参加28ヶ国の国旗が翻つて居るのは美しかった。

議題としては市街地土地政策、熱帯地の住宅、長期再建、住宅地の住宅形式と平面と配置相互の關係其他が挙げられ、又リスボンについての数多くのパンフレットが渡されて討議された。

展示会は規模こそ小さけれ、ポルトガルの外、英、仏、独、西、伊、スエーデン、ノルウェー、白、印、イスラエル、ほか1ヶ国から仲々入念に作った図が出品されていてその熱心さには感服した。

我々学生の頃、日本にも近代都市計画の声がやかましくなつて来たのだが、爾來30余年未だに欧米諸国に遙かに及ばないのは遺憾至極だ。又見学会ではリスボン市内及び近くの3、4の町の新住宅地へ行つた。これらは金持の1戸建住宅地、中産階級の数階建住宅地、労働者や漁民の平家建長屋住宅地であつた。金持の家と言つても10室程度が多く、内外共凝つたものではなく、外部色モルタル、内部白プラスター程度の簡単なものが多いが、広からぬ庭園も芝生をよく手入れし花を沢山作つて居て、而も開放的で街路から見え建物のクリーム、赤、コバルト等南国的色彩と相映えて道を通つて居て実に美しい。日本古来の開放的木造家屋では真似する訳に行かぬであろう。流石に金持の住宅の事とてガレージを備えて居る家が相当あつた。花の美しいのは住宅地ばかりでなく、リスボン市内の街路にも至る所芝生と花壇が作つてあり、道路の真中に池があつて白鳥が飼つてある所もあり、何れも手入れが行届いて居り、又これを毀損する者のないのは羨しかった。

次は中流住宅地、或日の見学で見たのは2階2戸建、官公共共同建設で、家賃月額150乃至400エスクード(1900円乃至5000円)との事、旧市街に綿けて建設して居る中流アパートは皆数階建で(4階以上の建物にはエレベーター設置が強制されて居る)大通りに面したものは1階が店舗になつて居た。

次に労働者住宅も似たもので、ただ程度が低いしかしながら、外から見ただけであつた。

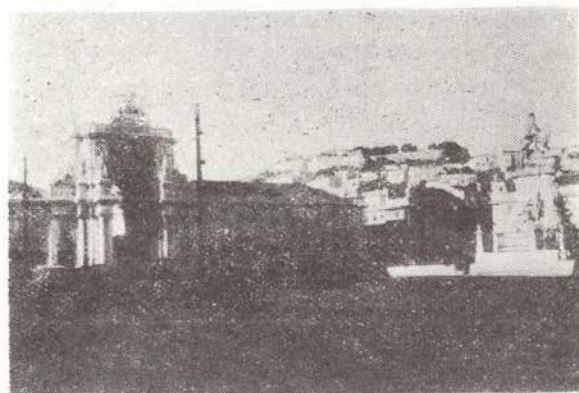
最後にリスボンから25軒位離れた海沿ひの町の漁民住宅を見た。厨房、便所(浴槽はないがシャワーがある)の外4室、平家建4軒長屋、家賃60エスクード(750円)建物間は道路を含めて10間位あり、我々としても住みたい程のものであつた。



リスボン衛星都市の高級住宅



リスボンの中流アパート



リスボンの官衙街



ケルン
大伽藍
前の復興建築

但しリスボンの住宅のデザインは何れも平凡であつた。リスボンは古い城市であつたが、その発展途中、(1930年59万人だつたのか1950年に79万人になつて居る。尙大リスボンは14万人)1755年に破壊的大地震があつた。此の時市の中心地を基盤目の街路割にして復興させた。これが契機となつて此の都市の発展には1エボックが割された。併し街の周囲は丘陵が多くて、従つて道路も放射状になり、又丘陵の爲めに高低を均さねばならなかつた。そしてどこでもそうである様に土地の発展が投機的に取扱われたり、合理的に立てられた都市化計画が実際にはその通りに完遂されなかつたりしたが、結局1938年、ドウアルテ・パシェコと云う人の力で政策が変革され、土地政策がうまく行つて年に426棟づつで1953年迄に5110棟建て得る事になり、かくて前記の通りに旧市街をこわしてめざましい新市街建設が行われる様になつたとの事である。正に人を得ての結果である。尙これにはまたその背景がある。それは首相サラザール氏が立派な経済学者で20余年統いてその職にあり、ポルトガルの施政はそのお蔭でよろしきを得、その上第2次大戦に中立国として大いに儲けて世界3健全財政国の1である事であるとポルトガル人も云つて居る。そのせいでリスボンには戦争成金が建てた貸家も沢山あると云う。

併し面白い事に人には郷愁があつて、2間半幅位の道に4、5階の建物が立ち、歩道は幅1尺5寸位軒すれすれに電車が通つて居り、旧式角形の軒燈が出て居ると云うリスボンのオールドタウンへ行くとキャバレーとでも云うべき所へ人は集つてウイスキーの空瓶へ立てたローソクの光で民謡を聞き乍らヴァンを酌み、ここへはアイゼンハウアー元帥やイーデン外相も来た事があるとか云つて喜んで居た。

26日マドリッド行。ここでは住宅建設も相当見受けられたが、むしろ市内に新築工事が相当あるのが注目された。(中心地の建築は10階程度)ローマ、リスボン共こういう事は殆ど見当らなかつた。即ち内乱でこわされた跡に立派な大学街が出来つつあり30階程のホテル、オフィス、アパートを含めた大高層建築が完成に近く、その他随所に建築工事が見られた。但し出来上つたものは外観に於ては、デザインとして特に注目すべきものではなかつた。

29日巴里へ飛んだ。これからは戦災都市の復興建築行脚を主目的とした。爾来40日間にスイス、ドイツ、スエーデン、フィンランド、オランダ、イギリスを廻つてアメリカへ渡つたが、其の間の約3分の2を仏、独、英即ち戦災地で過して、建築上から戦災復興の状況を見た。住宅建設はいくらかの差はあろうが、どの国でも盛んであつた。



ルアーブルの復興建築

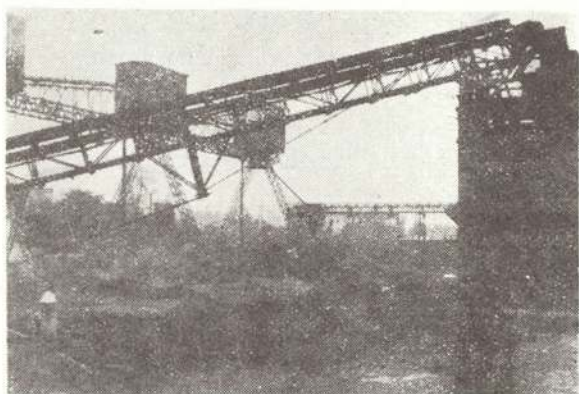
先ず仏国であるが、戦災地と云つてもパリは殆んど無疵であつた。白大理石の雨にあたらぬ側が真黒に煤けた時代色に限りない誇りを持ち決してこれを洗い落そうとせぬパリジャンは、幸いに殆んど戦災の惨状を知らず、今後も蒼然たる古色のうちに安住を続けるであろう。これが果して幸福であるかどうかは別として、セーヌ県の建築担当者に訊いて見たら、着市計画の案も色々あるしだんだんに古い家を取壊して市区改正をして新しい家建てつつあるのだが仲々思う様に捗らぬと説明してくれた。尤も其後廻つた他の都市よりも道路幅も広く建物の高さもそのデザインも大抵そろつて実に整然として居るのだから他の都市はここ迄追いつく事すら仲々のことであろう。全市公園の様なパリを見ては都市計画の技師に芸術家がほしいとつくづく思つた。序ながら、ストックホルムでは建物を取壊して市区改正をしきりにや

つて居たし、独逸の或る市では市区改正をする代りに復興建築にアーケードを作つて実質上道路を拓けて居た。

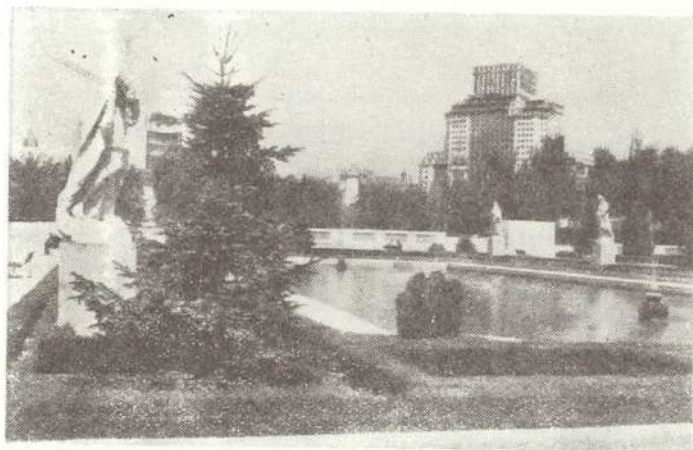
然らばフランスの他の戦災都市はどうか。大爆撃を受けたノルマンジー地方等の都市の復興には復興及都市計画省が大いに力を入れて居る。

ルアーブル港の岸壁に近くオーグ

ュスト・ペレーの特異の設計になるモダンな高層建築が軒を並べて出来て居る写真を見る事が出来た又カーンの如く殆んど全壊した街では前の所に新市街を作つて居



爆破物選別再成場(バンブルゲ)



マドリッドの新築高層建築

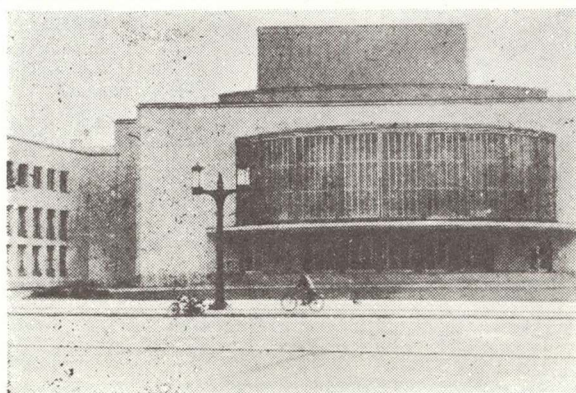
ると云う。尚又サンマロと云う町は非常に古い特色のある町なので、此処では毀された跡には残存部分と十分調和する様に復興をやつて居るとの事であつた。フランスらしいやり方が覗われるではないか。この外ブルターニ地方、大西洋岸地中海沿岸等の戦災地も政府の力で復興建設をやつているのだが金不足で捗らぬとの事だ。併し戦災家屋は全額を国が補償して居るとの話であつた。復興建築を実地に見る機会を得ず残念であつたが、復興及都市計画省の案内でパリ近郊ルノーの自動車工場近くに戦災者住宅を見る事も出来、又他にも2、3新築又は改造建築を見たが、フランスらしい香りのあ



焼建物の一階へ飯店舗を作っている（ベルリン）



ブランデンブルグ門とその附近の惨状（ベルリン）



シルレル劇場（ベルリン）

るモダンデザインの高層建築であつた。

フランスで戦災復興建築を目のあたり見ずにドイツへ入つてフランクフルト・アム・マインへ来たら、これは又着いたホテルの真前に戦災家屋があり、毀れた煉瓦壁が立ち焦土堆積のままになつて居て先ず心を打たれた。早速街へ出て見たらそう云う光景は至る所にあり、舗装は凸凹になつて居た。その戦災家屋の道路に面した所に仮屋根をかけて1階だけ営業して居るもの、又縦に小さく区切つて居るもの、全くの戦災バラックを作つて営業して居るもの等まるで戦争直後の日本の戦災地を見る様

な状態であつた。而も町の中心地がひどかつた。もつとも中心地は一方復興もまた速かでライン・マイン銀行（12階建て工事中の部分もあるがすでに営業中）ヘッセン・ランデス・ツェントラル銀行（8階建て）は簡明なモダンデザインの堂々たる復興建築であり、1部15階の大建築も工事中であり、其他戦後出来たらしい建築、相当大きい工事場も数ヶ所見受けた。それでも復興完成には尙10年もかかるかと思えた。

ケルンも相当の惨状、町外れには日本のと同じ様な古トタンのバラックが見えた。駅前には、14世紀から19世紀に亘つて完成したドームと称せられて居る大伽藍があり、幸い内部を焼いただけで残り修理中のまま使つて居たが、赤い衣、黒い帽子の坊さんが「お寺へ喜捨を」と書いた籠を胸に提げて立つて居た。此の駅附近の惨状もひどかつたが、又一方すぐ近くにすばらしくモダンな大店舗が出来上つて居り、又事務所建築らしい大建築も工事中であつた。

フランクフルト、ケルン、ハンブルグの間の鉄道駅にはホームの屋根が戦災のままの所、駅本屋が壁だけ残つて居るままになつて居る所もあつた。

ハンブルグも相当戦災を受けたのだと云うが家屋全壊のものは少くて半壊のものを復興したらしいものが多く見られた。現に工事中のものは少なかつた。ハンブルグで興味があつたのは大規模な設備をした爆破物選別再成場のある事であつた。例えば煉瓦はこれを粉碎してそれでブロックを作つたりして居つた。

ソヴィエツ管理地の上を飛行機で飛び越えてベルリンへ行つた。テンペルホーフ空港は戦災のままになつて居る部分もあるが大したもの、底下に4発の機を幾つも入れる事が出来、建家はホテルになつて居る部分もあると云うが、どうしてこんな大きなものが入用かと思われる程だ。所が空港からホテル迄の途中にすでに戦災家屋や焦土の山が沢山あり、クルフールステンダムと云う豪華な建物ばかりの大通にあるホテルへ入つたが、フランクフルトよりずつとひどい。驚いた事にはブランデンブルグ門へ

まづすぐの幅100米もあるかと思われるシャルロッテンブルグ大通は全く焼野原で僅かに残つて居る大建築も毀れたままであつたり、わずかに仮屋根を架けたりしてあり、風でさえ歩いて通つては薄気味の悪い程であつた。又ウンテルデンリンデン街はソ連との境界線の向うでわからぬが手前のチーアガルテンの森は燃料にしたとかで1本の木を止めず、ヒットラーの最後を遂げた附近の街は跡形もなく、近代建築史の最初の頁を飾つた20世紀の初頭の名建築ヴェルトハイム百貨店の残骸がこれだと、それとはまるでわからぬ外壁を見せられてはうたた

感慨無量のものがあつた。又ベルリンの焦土整理は20年
もかかると云われた事を覚えて居るが、ベルリンの復興
は何年かかる事であろうか、ベルリンの人々は歯の抜け
様な街の飾窓をわびしげに覗いて居るが、それは何年
続くのであろうか、心は暗くなるばかりであつた。それ
でも復興建築もいくらかあつた。併しそれはシルレル劇
場が温雅なデザインを見せて可なり立派であつた以外に
はフランクフルト、ケルン、ハンブルグに劣り外部をみ
すばらしい色モルタル塗にしたのが多かつた。なお工事
中のものもいくらかはあり、そのうちベルリン銀行（大
したものではないが1番大きい様だ）の高層建築がどん
なものになるかにわずかに興味と期待がかけられた。

ドイツ復興の状況は私が見た所は右の通りであつたが
ドイツでは生産設備の復興に先ず力を注いでビルディン
グは二の次にしているとも聞いた。ドイツとしては成程
そうであろうかとも思われたが、残念ながら工場地帯は
見なかつた。

最後がロンドン。宿はブリチッシュミュージアムの近
くでピカデリーサーカスやトラファルガースクエアの
繁華街に遠くなかつた。その界隈を歩いて見ると成程あ
ちこちに破壊された所があり、足場をかけて修繕して居
る建物もあつたが、破壊の規模はそう大きいものではな
く、且つ破壊の跡も焦土等を除きよく片付けてあるので
ロンドンの被害は大した事はないと思つた。所が後にシ
ティの英蘭銀行附近へ行くと、そこには広大な爆撃跡が
あり、有名な市会議事堂ギルドホールも修理中、又クリ
ストファー・レンの名作、イギリスバロックの代表建築
たるセントポール大寺院近くにも相当に広くやられた跡
があつた。併しベルリンの惨状には比すべくもなく都市
の比例から云つて、フランクフルトやケルンよりも軽く
はないかと思われた。そして可なり大きなビルディング
も復興して居たし「ここに18000平方呎のモダン、オ
フィスビルディングが建てられる」と看板が出て居る所
等もあつた。併し復興建築を見るとその設計のモダン
さも常識的で、至極当たり前に窓を明け、それに額縁をま
わし、外装は渋い煉瓦色、黄土色等の煉瓦と云うのが多
く、これはと云うのは見当らなかつた。

独逸が廿世紀の初頭、新建築に大いに気を吐いた精神
は復興建築にもどこことなく現われている。若しも今アメ
リカ建築を以つて最新様式の尖端を行くものとするれば、
独逸のはむしろコンサーヴァをティヴと云わねばならぬ
だろうし、又もともと独逸からスイス、北欧、オランダ等
に伝えられて今でもそれ等の国の新建築に覗う事が出来
るセセッション以来の手法のにはひを止めはするけれど
も何かしら創造の熱情は覗われる。然るに英国の復興建
築にはどうもそう云う点が認められぬ。併しロンドンの



ベルリン銀行（ベルリン）

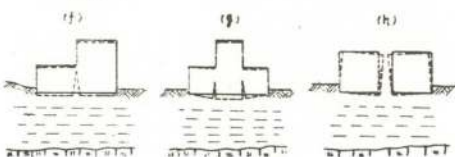
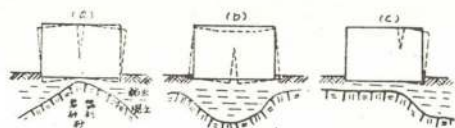
戦前の建築たる放送局、王立建築士会、セルフリッチス
百貨店等はむしろ当時としては可なり新しいデザイン
のものであつた。要するに復興建築はデザインにいく
かでも凝る程の経済的余裕も持たせないのでなかろう
かとも思つた。但し、ここに特筆して置きたいのはロン
ドンのローヤル・フェスティバル・ホールである。これ
はすでに日本にもよく知られて居る新建築で、先年の英
国祭の建物の1部をなしたもののだが、無論仮設物では
なく今後増築もし、その前の鉄道線路も取払い、又前面
にあるむかし鉛の弾丸を作つたものとかの太い煙突の様
なものも取払われて附近もきれいになるのだと聞いたが
そのデザインは正に異彩である。設計に3年を工事に20
ヶ月を要したと聞いた。実施設計に3年もかかつたので
はあるまいが兎も角も設計には余程の熱情が傾けられ
たものと思われる。ロンドン、カウンティー、カウンス
ルの若い建築家数人の合作だと私を案内して呉れた人は
云つた。設計については既に雑誌で日本にも詳細に紹介
されて居るから説明はせぬ。今でもスカートをはいたス
コットランド兵が居り、山高帽をかぶつた紳士が歩いて
居て、伝統と「コンサーバティヴ」を看板にして居るロ
ンドンに斯様なモダンな建築が出現した事は、ローマの
新停車場と共に驚異であるが、そこに時代の力を轟々と
感ずるものと云わねばなるまい。

非常に短時日に乏しい語学の力を以つて視察しての管
見であるから大略の事を叙したのもとして御承訪願いた
い。（筆者 日建設計工務株式会社社長 工博）

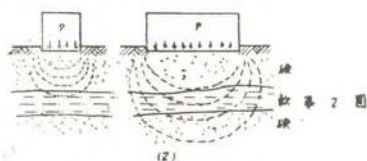
基礎の新しい試み(脚壁つき浮函)

1. はしがき

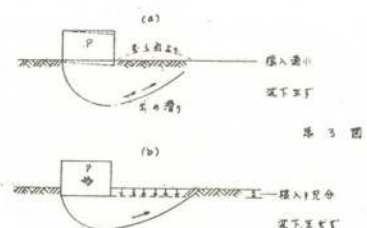
ここは地盤が悪いから平米当たり何トン位しか持たないとか、何尺の杭を打てば何トン持ったとかいうのが今まで慣用された基礎の設計方針であります。そしてボーリングをやるとか、地盤や杭の載荷試験をやるのは比較的眞重な部類に入るのであります。これらの方法が絶対信頼出来るものでないということは誰もが考えているこ



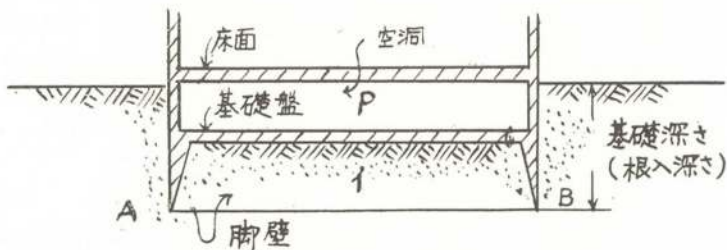
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

となのですが、さりとて土のことについては問題が複雑なため、世間並な設計方針にしたがうだけで、もし都合の悪い事態が生じて、之は「致し方なかつた」で処理しているのが普通のものであります。

なるほど土の問題は簡単には捕足しにくい点が多いのですが、今日までの単純な考え方を捨て、少しでも深く土を研究してみれば、色々と今まで考え及ばなかつたことで、設計上重要な点がみつかります。その最も大きいことは、上記のように極めて皮相的な地耐力の判定とか 1 本だけの杭の支持力のようなものをたよることは危険であつて、もつと目を大きく開いて、建物の建つ場所深くまでの地層の成り立ち、各地層の力学的な性質は勿論建物の剛さ、大きさ、基礎の深さ、附近の地形、隣接建物との関係、等々、色々のことを総合的に考えて、始めて信頼の出来る基礎構造が設計出来るということであります。例えば、第 1 図 (a)、(b)、(c)、(d) は地下の地層が不そろいであつたために建物に亀裂の生じる傾向を示したものであります。又 (e) は附近の地形、(f) (g) は建物の不均一さによる影響、(h) は隣接建物相互の影響を示しております。

第 2 図では基礎の大きさが異なる場合は地下に起る力の分布が大いに違うことから沈下にも必然的に相違のあるべきことが判ると思います。又、第 3 図は基礎の深さの差が沈下に影響あることを示しております。

2. 新しい試みへのヒント

建物の基礎を地中深く入れる程大きな荷重に耐えられることに容易に考えられることであり、これは又土質力学の上からも説明のつくことなのです。大きなビル建築も地下何階というように、地下深く掘り下げるときは、見た目より、はるかに安全なものです。すなはち、この場合には、次の二つのことを考えてみればよくわかります。一つは、地下室部分として掘り出された土の重量が案外大きいので、これを建物の重量から差し引いたものだけが漸たに乗つたと考えればよいので、目で見た程の大きな荷重がついているわけではないのであります。次に

基礎の底が地中深くなるということは、その建物が沈下してゆくのを、おさえる周囲の土が多くなつて都合がよいということでもあります。その訳は第 3 図でおわかりのことと思いますが、この二つのことは、その建物が安全に地上に支えられているかどうかを判定する

重要な要素なのであります。

ここに説明しようとする試みは、上の2つのことを組合わせて、最も経済的に考えた基礎構法の1つなのです。基礎を深くする効果を経済的に満たすためには、周囲の壁だけを深く下げることにして、丁度潜函基礎を下げるときの刃型のような形にします。第4図で脚壁と名付けた部分がそれでありまして、このような脚壁を建物周囲に設けることによつて基礎深さ(之を根入深さと呼んでいます)を脚壁の深さまで大きくとれることになるのであります、ところが、脚壁でかまれた④部分の土の重量が荷重として根入底A-B面にかかることになるので、荷重を小さくする意味からいえば基礎盤を深くするのが都合がよいことになるのです。これまでは普通基礎盤と一階床面との間の③部分には土を入れていたのですが、この試みでは③部分を空洞として荷重を少なくすることにしたのであります。

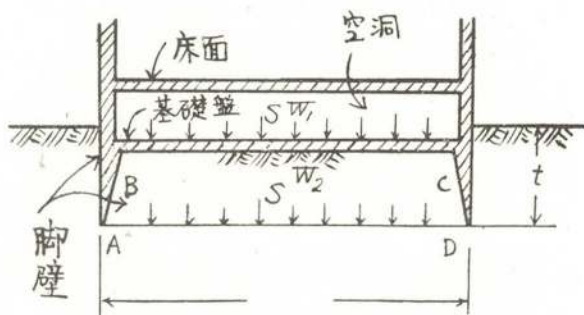
この試みは、与えられた問題が大阪の築港地帯という所に倉庫建築という重量性の建物であつたため、普通行われているような長尺杭打或は短杭ベタ打ち基礎に比べて種々の点で最良のものと信じて行つたものであります(以下蛇足ながら地盤の支持力の問題から始めて、この試みの内容を説明致します。)

3. 地盤の支持力

前の説明で地盤の支持力に色々な因子が複雑に組合わされることがわかつたことでしょうか、そのぐわしい数

K の 表

	0	0.2	0.5	1.0	2.0
0	0	0.2	0.5	1.0	2.0
5	0.11	0.45	0.96	1.84	3.72
10	0.34	0.85	1.50	3.05	6.22
15	0.77	1.51	2.69	4.81	9.72
20	1.51	2.56	4.27	7.44	14.81
25	2.83	4.38	6.89	11.56	22.63
30	5.16	7.45	11.20	18.06	34.53
35	9.22	12.67	18.11	28.48	53.09
40	16.83	22.48	30.61	46.23	83.08
45	31.78	39.71	53.28	77.75	135.51



理的なことは現在のところでは、まだ基だ不完全にしか解析出来ず、将来の完成に待っている始末であります。しかしながら地層の成り立ちや、土の性質等も夫々模型化し、理想化した性質のものをもとにして、多くの学者が地盤の支持力公式を提案しております。今その中の一つで、Kögler-Scheidig の式を挙げてみますと、次のようであります。

Kögler-Scheidig の式

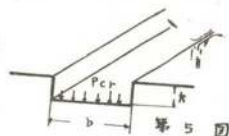
(Baugrund und Bauwerk)

S: 土の内部摩擦角

r: 土の単位重量(t/m^3)

h: 根入深さ(m)

b: (m)



とすると、第5図のように帶状で無限につづいているような基礎について、破壊支持力 PC_r は $PC_r = K \cdot r \cdot b$ (t/m^2) で与えられる。

ここに K は t/b 及び ζ によつて決められる常数であつて別表で求められる。

尚ほ、基礎の形が正方形、又は円に近い場合は上記の値の約2倍の支持力がある。

さてこの式の PC_r は土が將に破壊しようとする時の値、つまり急激に建物が傾いたり沈下したりし始める時の値でありますから設計する時の所謂許容支持力としては、この値を適当な安全率で割つておかねばなりません。この安全率をどれ位にすればよいかについては仲々むづかしい問題ですが、ここでは最小 1.5~2.0 にとつてみました。

ついでながら上の式で $\zeta=0^\circ$ つまり非常に軟い泥土であつても K の値は t/b の値と同じ大きさになっております。故に PC_r は

$$PC_r = t/b \cdot r \cdot b \\ = t_r$$

となり、之は根入部分に相当する土の重量でありまして

このことは掘方によつて排出された土の重量と等しいだけの荷重はのせられるということを意味しております。

4. 脚壁つき浮面基礎の支持力

建物の底面の周りに脚壁を設け、丁度箱を逆にしたようにして伏せますと、この脚壁に囲まれたABCDの中の土は、建物の荷重 W_1 によつて押しかためられます。そしてこれが或る程度かためられてしまえば今度は建物といつしよになつて建物の底面がAD面であるかのようなになるわけです。つまり脚壁を設けることによつて基礎の底を深くしたと同じ効果となり、 t だけの根入深さで支持力を計算してよいことになります。ただしAD面にかかる荷重としては前の W_1 でなく、更に脚壁内の土の重量だけ多い W_2 という値をとらなければなりません。

すなわち、 t だけの根入でAD面の支持力を計算する代りにAD面にかかる圧力としては、 W_1 でなく W_2 をとつて計算しなければならないのであります。

ここで、 W_2 を小さくしようとすれば、BC面を段々深くして、ABCD間の土を少なくすればよいわけですが、これには土の掘方が多くなつて、地下室等に利用価値がある場合の外、BC面をむやみに深くすることは工費が高くつくことになります。次いで第4図のように都合のよい所まで基礎盤を下げ、床面との間の部分を空洞のまま残して置くということが自然に生まれて来ることになります。

以前には基礎盤と床面とが二重になることはよくあつ

たのですが、この時は普通土をつめていたのですが、この構法ではこの部分を空洞にして W_2 を軽くするように試みたのであります。

さて、脚壁の深さや基礎盤の深さを決めるには、方程式のようなものを解いてビタリと決めるわけにはゆきません。 t をさきに仮定しておいて、AD面の支持力 PCr を求め、之から W_2 を求め、そして基礎盤の深さを決めるやり方と基礎盤の位置をさきに決めておいて、これから脚壁の深さを求めるやり方があるわけで、之等はその時々条件によつて都合のよい方法をとらないのであります。次に本例について次の間の説明を致します。

5. 実 例

第7図のような鉄筋コンクリート造2階建の倉庫建築を大阪築港地帯に建てようというのであります。

土質調査：——

土質調査の結果、地表面下約30mの間の土の内部摩擦角を 6° 位にとり得ることが判つたのですが、設計の時には之を 5° としました。

荷 重：——

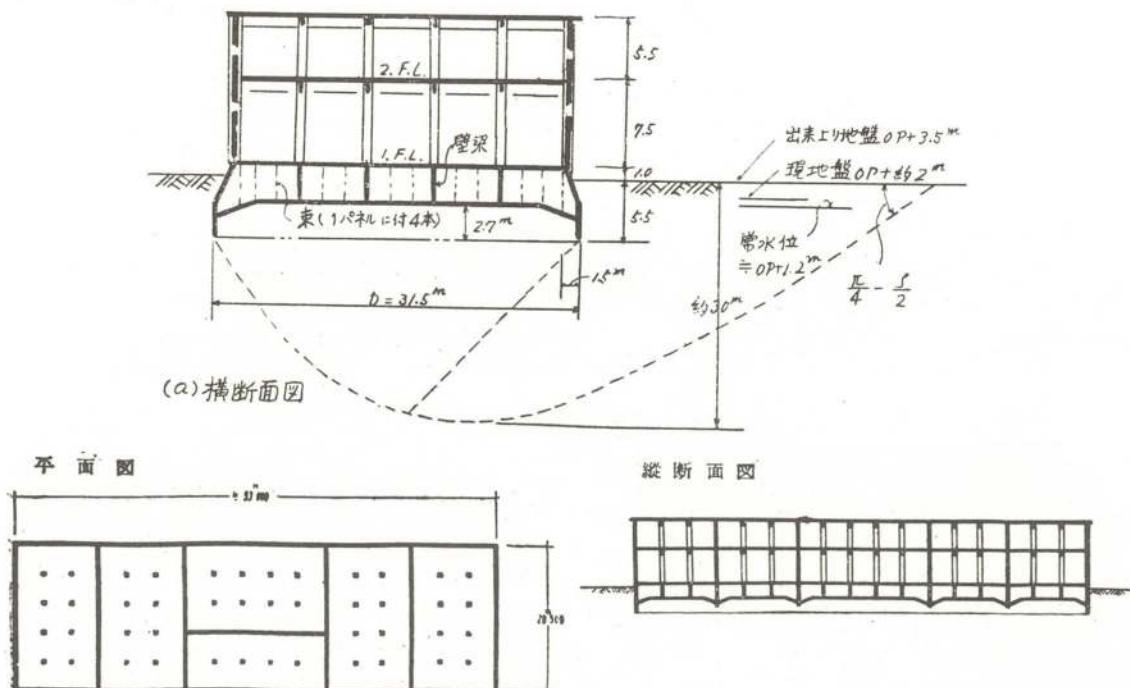
積載荷重としては2階を $1.5t/m^2$ 1階を $2.5t/m^2$ とし、部分的に最も不利な状態を取り得る様考えました。

根入深さの仮定：——

$t=5.5m$ と仮定しますと

$b=31.5m$ $t/b=0.175$

でありますから $\zeta=5^\circ$ とすると



第 7 図

$$K=0.41$$

であります。

基礎盤の位置：—

安全荷重を PCr % 位とみますと

$$bd = \frac{2}{3} PCr = 13.8 \text{ t/m}^2$$

となります。

さて、基礎盤の深さの多少の差は固定荷重に大した影響はありませんから図の様に仮定しますと、

$W_1 = 8.3 \text{ t/m}^2$ (脚壁及び基礎全重量を含む)

$$\left[\begin{array}{ll} \text{内訳} & \text{建物} \\ & \text{積載} \end{array} \begin{array}{l} 4.3 \text{ t/m}^2 \\ 4.0 \text{ t/m}^2 \end{array} \right]$$

が得られますので、之に 2.7m 間の土を加えて

$$W_2 = 8.3 + 1.6 \times 2.7 = 8.3 + 4.32 = 12.62 \text{ t/m}^2$$

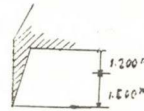
Pa より小さく先づ大丈夫でありましょう。安全率は $\frac{PCr}{W_2} = 1.64$ であり、又 $\alpha = 6^\circ$ としますと 2 位になります。尚ほ、この時は平面の形は巾に對し長さが略 3 倍ですから、帯状としての K の値をそのまま採りました。

6. その他の問題

以上で建物が全体として不安な沈下を起さないことが判明したわけですが、次に考えねばならぬことは、いわば軟い土の上に浮いているような建物に對し、浮力の点では問題がないことは判つたのですが、浮力としての圧力が正等に作用せず建物全体としての強さ、或は脚壁の強さ等を如何にして計算するかということでありま

す。この問題はややむづかしい理論ともなり、又本問題と直接の関係も薄くなるので、ここでは省略させていただきます。

次に脚壁に囲まれた第 4 図④部分の土は、当然或る量だけ押し固められるわけでありま



緩い中粒砂 E (圧密・弾性係数)

$$= 200 \text{ kg/cm}^2$$

青灰色沈泥 E = 25 kg/cm²

$$S(\text{圧密量}) = P \frac{h}{E} \quad P = \text{圧力}(\text{kg/cm}^2) \quad 4.3 \text{ kg/cm}^2$$

h = 地層の厚さ

$$S = 0.43 \left(\frac{120}{200} + \frac{150}{25} \right)$$

$$= 0.43 \times 6.6$$

$$= 2.84 \text{ cm}$$

そこで 3 cm だけ建物をあらかじめ高く構築しておくことにしました。尚ほこの他積載荷重により、又脚壁下部の土の圧密によつても土の押し固めの沈下は現われるのですが、之は既往の実績より考えて使用に差支えないものとして覚悟することにした。勿論土に仮定した E の値等も既往の実績より見てもう少し大きいものと予想しております。

何れにしても、この基礎の構法は、この地帯に建てられた色々の構造の倉庫建築について、その沈下を測定してみた処、長杭を打つたものも短い杭を打つたものも、又杭のないものも、夫程大きな沈下の差もなく、何れも実用上大した危険にも感じられない実状にあるので思い切つて採用したものであります。即ち、勿論、土の押し固めによる所謂圧密沈下はある程度覚悟し危険な土の横りによる剪断沈下に對し安全なる様と設計したものであります。この時他の考えられる構法との比較として次の表のような内容を比較致し、最も白星の多いものと信

				長杭打ち	短杭打ち	本 法
自	然	沈	下	●	●	●
庄	密	沈	下	●	●	●
前	断	沈	下	○	○	○
計	算	の	明	○	○	○
施	工	の	確	○	○	○
工	事	費	性	○	○	○

じた本法を採つたのであります。この中で力学的には短杭ベタ打ちに比べて本法が計算の根拠が最も明確である点を大に買つたのであります。基礎版が二重になつて



近代建築の粹

床材は リノリウムと リノタイル

TOYO'S LINOLEUM & LINOTILE

世界の市場に雄飛する

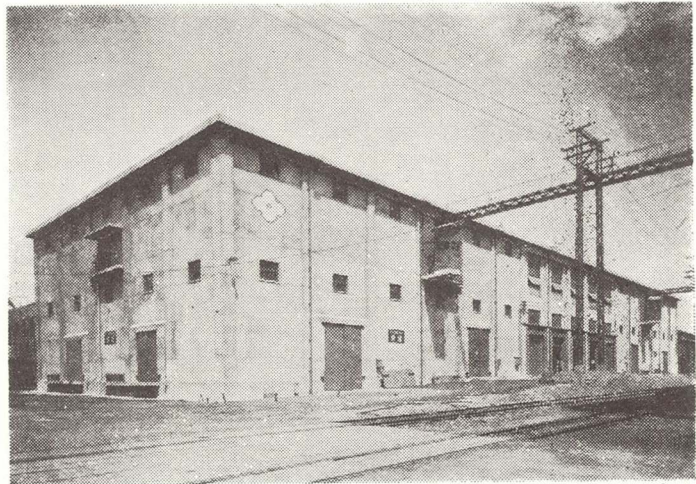
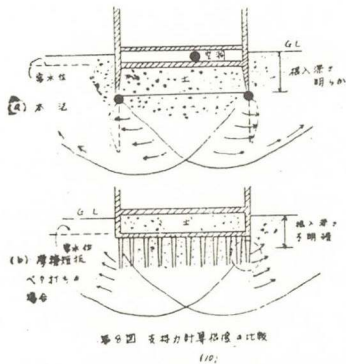
東洋リノリウム株式会社

取締役社長 斎 信 敬 二

本社及工場 兵庫県伊丹市伊丹五五八番地 電話 伊丹 1・51・69

東京支店 東京都中央区銀座四丁目(三和ビル) 電話 京橋 1701・2564

大阪事務所 大阪市東区瓦町二丁目(三和ビル) 電話 北浜 375・376



大ゲサように一見考えられますが、短杭ベタ打ちの場合もやはり基礎版は、常水位の関係で二重になるので、この点は勝負なしと考えます。

最後に施工中の沈下並に周囲への影響等についての中間報告を致したいのでありますが、之が残念乍ら、最初の実測値にやや不備な点があり、引きつづき目下測定中でありまして（7月18日—コンクリート打終り約20日後）その正確な値をここにお示し出来ないのがありますが、1階床コンクリート打終り当時に比して約1.3cm～1.7cm（平均1.5cm）沈下を示し、北側に多いようであります。之は前記の計算式に於て、 $P \div 0.2 \text{ kg/cm}^2$ 位の値の場合に相当致しますが、そうすれば $S = 1.3 \text{ cm}$ となりますので予想よりやや高い値を示しているようであります。周囲建物への影響は今の所全然見られません。又基礎版下圧力分布の有様についても、土圧計14個を装置して目下観測中でありますが、これもここには未だ、お話するまでの資料が揃っておりませんので、これも後日にゆずりたいと思います。

（筆者 株式会社大阪建築事務所専務取締役）



杭

特許
特許

武智式鉄筋混凝土杭基礎工
日信三角型鉄筋混凝土杭基礎工
測量・地質調査・地耐力測定施工

特長 砂利充填による特殊施工法
支持力強大。工事迅速。工費低廉

株式会社 武智工務所

取締役社長 福留並喜

大阪市西区西長堀北通四丁目宅〇 細野ビル三六号
電話新町③九九五～九九八番

説明書及び防潮ノ嵩上盛土地帯に於ける実績表進呈

私たちの 建築史

(3)

林 野 全 孝

第2期——奴隷制時代——

小 序

エジプトやギリシャの文化が、ドレイを私有し、その生産手段を私した≡王≡制によつて、急速に発展し、すばらしい文化を築きましたが、我が国に当てはめると、古墳や仏教文化が栄えた、古墳→藤原時代迄ということになります。

しかし、このすばらしい古墳、すばらしい天平文化と言つても、これ全て支配者階級のものであつて、一般の大衆の生活には、凡そ縁の無い文化ではなかつたでしょうか。しかもこの無役な文化を築くのに大衆は直接に間接に貴族の私有物となり、苦しい生活のギセイの下に、権力によつて働かされて来たのです。従つて、ここに当然反抗が繰返されます。農民の反抗、役民の反抗、又時には貴族間の反抗(権力争い)ともなつて現れます。しかしこの反抗に対して、支配者は常に巧妙な手段を用います。一つは武力・権力で、今一つは宗教でありました。なぜ神社が生れ、なぜ仏教が栄えたか？ これは第2期の重要な課題の一つとなるでしょう。

以下第2期を3節に分けましょう。

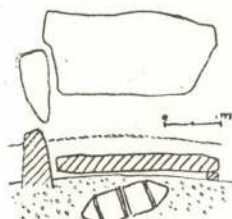
第1節 ドレイ制時代の成立まで(古墳)

第2節 最盛期(飛鳥→天平)

第3節 没落期(弘仁→藤原)

第1節 ——そ の 1——

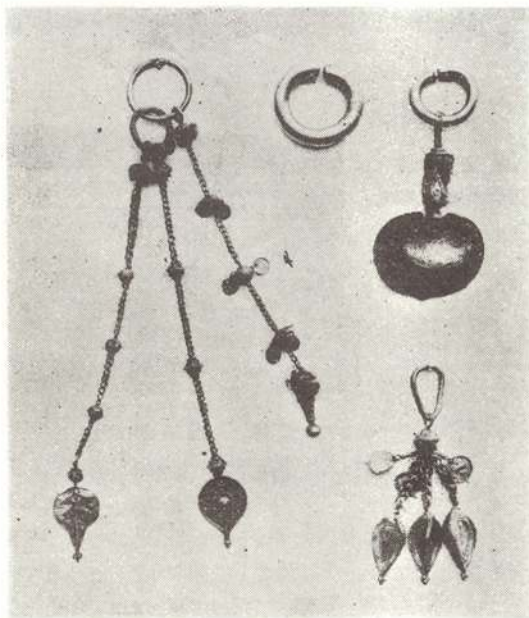
登呂や久ヶ原や、福岡県高槻で見られるような、まだ



第18図

階級制がはつきりしていない共同社会は、長く続きませんでした。やがて彼等の共同社会の中から、彼等の社会を支配し、尙且他の氏族をも次々に支配して行くための闘争が繰上げられます。

その過渡期の遺跡が、北九



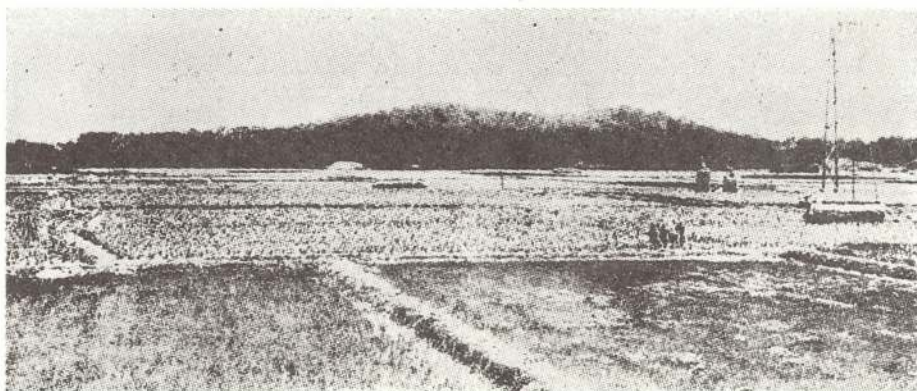
第19図

州の須玖・三雲から出ています。ここに見られる共同墓地は、たくさんの甕棺(ヤヨイ式土器の棺)の内一つだけ、大きな石でおおわれ、(第18図)しかも、漢文鏡・玉・銅の鉾や釵が副葬されています。これは1人の族長(恐らくは女性)を中心にした社会で、族長の権力が非常に増大していたことが解ります。(岩波刊 日本民族後藤)

ところで、次の時代になると、共同墓地は全く姿を消してしまいます。そのかわり、前述の族長の墓を更に大きくした墓が現れます。つまり支配者と被支配者の別が出来始め、支配者のみが墓を持ち、被支配者は墓すら与えられなかつたようです。

このような階級社会がどうして出来たのでしょうか。一言で言えば、農耕社会の産物として、共同の土地、生産手段を私有化することによつて、私有財産を増加させ更に生産手段の大部分をしめていました人間の労力を私有化して、(=ドレイ化)権力を持ち、遂に大和地方を中心とする一つの勢力が、全国を統一して行つたと言えます。果して大和王朝のことを言っているのか、或は九州の一勢力を言うのかは解りませんが、(岩波刊 日本民族、小林)第3世紀半の後漢の書「魏志」倭人伝に、30国が1つの国の国王によつて統治されていると述べられています。他の29ヶ国の王は大名のように、1人の支配者の下に属していたのでしよう。このような一種の封建的な関係が、すでに久しき以前に現れていたのはアジアの特徴でもあつたようです。又魏志には、その下に生口(ドレイ)の存在をも記しています。

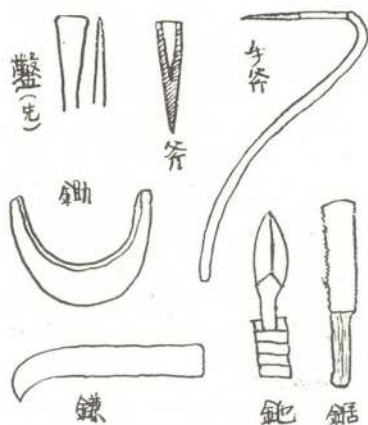
第 20 図
河内応神天皇陵



仁 德 陵

このようなドレイ制が発展するにつれて支配者の自分の権力を表すために、いろいろの物を生産しようとし、立派な宮室に住み、すばらしい装飾をつけ、(第19図)又死後の安らかな生活として偉大な墓を造ります。多くのドレイがこれに従って生産されます。例えば世界最大といわれる仁徳陵は(A D 379~399) 14万坪のキボで、土の容積が、500万 m^3 、延 250万人のドレイが使われていました。又、これを囲むハニワもおびただしいもので、これを専業としていた土師部により大量生産されていたとしても、3年はかかっただろうとのことです。(cf 第20図)

この時代は、鉄を使うことが伝わり、(第21図)又分業・専業化により生産手段が一段と進歩したとは言うものの、それによつて生じた余剰の労働力は、すつかり支配者に呈供せざるを得なかつたので、一般人民の生活は前時代と少しも変つてはいなかつたのみでなく、ますます貧困化したとも言われています。(古墳の構造変遷については省略するが、その建築学的に見た方式は、考古学者のみに一任せず、更に見当を要することだろう)



第 21 図
鉄制農具と建築用道具

宮 室

シナの宮室は、当時、「台榭」といつて、高合を土で築いて、その上に榭という木造の宮室が建てられていました。(関野雄、建史論叢) 朝鮮の宮室も同じく高合の上に建てられた跡があります。

我が国では、風土記に「楼台」日本書紀に「合字」とあり、共にタカドノと読ましていますが、宮室を指しております。楼、宇は共に建物のことですので、台榭と同じ意味でしょう。又、記紀風土記に出てくる宮室の記録のほとんどが、高合の上に建っているように思われます。第22図は大和地方の飛鳥時代以前の宮室所有地を、記録により図示したもので(文献が正しいという仮定の上に図示)、これによつても、丘陵地のふもとに集まっていることがわかります。それが古墳集中地とも一致しま

(27頁の下段へ)



第 22 図

仕事の速さ

若木望太郎

近頃ちよいちよい新築の建物をみせて頂く機会にめぐまれる。そのさい、よく「工期が短かかったのでこれこれのところはまずいが……」という説明をきく。別に説明されるまでもなく、一眼みてまずいことはまずいのである。たとえば、プラスターがわれたとか、板がそつたとか、其他等々。唯そのまずいのが、工期が短いだから当然止むを得ないのだといわぬばかりの顔をされるのは心外である。

なにしろ大阪から朝鮮の戦線まで僅か20分で行けるようなスピード時代なのだから、建築の設計だつて工事だつてスピードを要求されるのは当り前の話である。純粹の記念建造物や住宅などはともかく、一応投資の対象になる建物ともなれば一刻も早く出来上つて、一刻も早く資本の利を生むようにせねばならないのは自然の理である。そこで施主というものはとかく無理を云う。その無理をまた器用にひきうけないと、設計者も施工者も仕事をとれないものらしい。その間の事情はよく想像出来るのである。それに、仕事の期間が短かければ経費も少くてすむと云うものだ。かくて仕事が速くなるのは止むを得ぬことだし、むしろ大局的にみればよろこぶべきことである。どうしたら仕事を速くすることが出来るかは、誰でもが考え、誰でもが心掛けておらねばならない重要事項である。

しかしこの、仕事を速くする手段方法は、飽くまでも合理的なものでない困る。セメントも調合もそのままにしておいて仮枠の存置期間を無視したり、乾燥していない板を天井に張つたりするようなのは、仕事を速くはするだろうが合理的ではない。設計でも近頃よくみるとだが、どこかの既往の設計をまるうつしにしたような計画案をたつた1つ作るだけで、その場合々々に応じて練つてないようなものは困る。(仕事というものは、それ程甘いものではない。)

ところがこんなのが割合に多いのである。私は「施工者が早く出来るというのに何故工事監理人が邪魔をするのか」と詰問されたことがある。施工者にきいてみると

合理的な対策が何1つあるわけではなく、塗つてから数日を出ぬモルタル塗の上に普通ペンキを塗つて了うといったような頼いのことだけを考へてあるのだ。＃どこそこは何ヶ月で竣工したそうだ。段取さえ良ければ出来るじゃないか＃と言われる。その速い建物にとんで行つてみると、さて眼立つのは施工の欠陥だけである……といったあんばいである。(中には、はじめから期限におくれる積りで請負う者さえあるということだが、こんなのは論外にして。)一体いつのまにこんな世の中になつて了つたのだろう。

尤も今頃は、何事でもめまぐるしく変る世の中だ。国民生活運営の大本である憲法でさえ数年を出でずしてコロリと変りそうな形勢である。国敗れて山河ありと云うがその山河も、濫伐に山肌が禿げて行き、洪水に河筋が移る世の中だ。私のように戦時中一番おそくまで国民服を着けなかつたのに戦後一番おそくまで着ていたようなカントロ(勘のとろい)には、とてもついて行けるものではないと覚悟してはおるけれど、それでもしかし……仕事を速くするという、即、仕事を落とすことであるという風に世の中が急変したのだとは、どうも腑に落ちない。変る方向が悪すぎる。

私がこんなことをボヤくと、合理的に速くしたら銭のかかることばかりだと云われる。成程そういう方法は確かに多い。が私は、そう銭のかからない方法だつてあるだろうと思うし、又そういう方法を絶えず探究していくのが我々のつとめだと思う。仮りに今、銭のかかる方法しかなかつたとしたら、＃之をこうしたら之だけ速くなるが、その代り之だけ銭がかかる＃と何故言えないのか？ 否言わないのか？ それを言うのが技術者の、否人間誠意、誠実というものではないか。今のようなままではの所詮建築ナンテものは叩きさえすれば設計でも工事でもいとも手軽に出来上るものなのだと他人に信じこまれるのがおちで、建築界全体にとつても決して得になる話ではないと思うのだが、どんなものだろう。

(筆者、倉紡KK営繕課長)

(26頁より続く)

すので、恐らく当時の聚落との関係をも示すものでしょう。(拙稿、学会報第18号)

この高台には、タカドノ・桜閣・新嘗屋・朝堂・射殿・酒殿・倉等がずらりと並び建つていたのでしょう。

この立派な宮室も、シナの影響を十分に受けていたでしょうが、工部・手人部、或は宮部(ハコツクリ)等の部民と称するドレイ達により生産されていたのでした。(つゞく)

——次号は4月号で住居と神社の発性——

理事会 14日2時於新大阪ホテル集會室午餐會後開催、青木、浅沼、須賀、中野、藤木各主記、浅海、斉藤、政岡各主計、中村、山本各編集、大和常務理事出席、通常総会開催の件、名誉正会員逝去の件、2月午餐會の件、会員詮衡並に諸報告を議した。

午餐會 14日正午於新大阪ホテル、竹腰会長外63名出席、中野主記開會挨拶後司會、午餐終了後旧冬帰朝された三和銀行技師長白石登喜男氏並に日建設計工務KK設計部長岡橋作太郎氏両氏より欧米視察談あり、竹腰会長所感と講演者に対し謝意を述べられた。尙大和常務理事より本日講演予定の尾崎久助氏が列車事故のため東京よりの帰阪が遅れ出席不可能になつた旨を述べて散會した。

技術部門評議員、理事懇談會 16日2時於朝日ビル、池田達雄氏外7名出席、28年度技術部門より選出する評議員候補者その他に関して懇談した。

会勢委員会観劇會 会勢委員会1月の催しは恒例により17日4時—9時於道頓堀中座、松竹新喜劇會我道家十番一座の観劇會を開催、当日は會するもの70余名、爆笑の裡に参加会員家族の方々共懇親を深めた。因に当日の観劇會に菓子果物等を寄贈された会員ケーアールゴムKK殿並にKK浅沼組殿に対し紙上を通じて厚く謝意を申上げる。

教育委員会 21日2時於朝日ビル、鷲尾委員長外4名出席、第2回座談會開催の件、日米作品交換の件その他協議した。

建材審査會 24日1時審査申出中のマープリック製造行程検分のため置塩委員長外5名、吹田同社工場視察後朝日ビルに歸り審議した。

記念事業出版部會 27日2時於朝日ビル、井上滉氏と事務局會合、地質図表刊行に関し打合せた。

30日2時於朝日ビル、尾崎部長外8名出席、地質調査図表印刷内容見本外檢討會誌記念号の件、建設資料便覧発行経過報告と今後の進行方を協議した。

通常総会 29日2時於大阪建設會館3階、竹腰会長外会員15名出席、28年度監事並に評議員の選挙の件執行名誉正会員推挙の件、昭和26年度決算並に昭和27年度予

算の件を議了した。(以上別項會告の通り)

編集委員会 29日3時於朝日ビル、中村委員長外1名出席年度内會誌状況檢討、4月以降の準備企画等を協議した。

関西建材會の近況(建材部門) 8日正午於清交社、青木幹事長外幹事20名出席、新年初役員會開催、建材保金會設立に関する件その他を協議した。

13日4時於三越7階集會室臨時總會開催、建材保金會設立案協議、その他事業中間報告後、8階食堂で会員70名出席の下に新年晚餐會開宴、会員の活潑な意見の發表があつた。因に同會では現幹事が発起人となつて上記建材保金會を設立する目的を以て各建材業種別に運動を進めている。

建築学会近畿支部 9日3時於朝日ビル役員會開催。

大阪府建築士會 13日正午於日本綿業クラブ新年理事会開催、渡辺会長外9名出席、午餐終了後アパート建築座談會開催の件その他を協議した。

ノザワフレッシュキブル説明會 21日4時於産經會館9階本會後援の下に上記説明會を開催、會するもの凡そ100名本會事務局の幹旋で進行説明聴取後質疑応答、最後に本會中野主記の挨拶あり盛會裡に終了。

国際文化會館設立資金委員会大阪支部役員會 24日正午於新大阪ホテル開催。竹腰会長理事に推薦され列席。

京都支部長來會 24日午後松井支部長來會事務打合後竹腰会長と懇談。

燃えない都市建築展打合會 28日3時於大阪建設會館開催、主催者大阪府、大阪市、日本建築協會、大阪建設業協會、日本損害保險協會、近畿不燃建築協會及都市不燃化促進連合會の各代表出席打合せた。

事務局員岩下明正君離職の件 予て臨時事務囑託中の、1級建築士岩下明正君は囑託事項中の記念事業も略終了のため希望により1月中で囑託を解きました。因に同君は本會団体会員中のサンエナメルK.K.に入社された。(事務局事項)

會員村野藤吾氏渡欧 2月14日大阪発上京21日羽田立ち二ヶ月の予定でアメリカよりヨーロッパに渡られ、パリ、ロンドン、ストックホルム、コペンハーゲン、フランクフルト、ベルリン等に建築視察の途につかれた。



建物クリーニングの店

創業30年 古い歴史と新しい技術

ビルディングのクリーニング工事
古い住宅が新築同様になる美素工事
新築住宅にお手入れのいらい美素工事 請負

株式会社 美素工業所

大阪市東区瓦町(華船)三和ビル三階 電話北波⑤688番





置 塩 章氏

昨年の文化の日 1952. 11. 3. に会員の置塩 章氏と池田谷久吉氏が各地方庁官より郷土文化の功労者として表彰され、各新聞により既に衆知の事ではありますが会の名誉の記録として此処に掲載し、更に今後の多くの会員の御光栄を祈る次第であります。

名誉正会員 置 塩 章 氏

第五回兵庫県文化賞の日本画、どもり矯正、社会文化、考古学、建築文化、内燃機研究の六部門の中より、建学文化の功労者として下記の如き表彰状を受けられた。

表 彰 状

神戸市東灘区御影町上ノ山一六六一ノ一

置 塩 章

県下建築界の長老として美術建築に其卓抜せる技能を発揮し三十余年にわたり県下建築文化の向上発展につくされた功績はきわめて大きいものがある。よつてここに兵庫県文化賞を贈つて表彰する。

昭和27年11月3日

兵庫県知事 岸 田 幸 雄

その日の氏の言葉

建築に志してから42年、関係団体の役員として老骨にむちうつているが、表彰を機会に自分が多年願つていた建築美術の研究に精根をかたむけたいと思う。新しい様式は天才が生れなければ出来ない。ことに日本のように経済的に種々の制約をうける国では困難な仕事だ。しかし若い人たちがフランスのコルビジエに走りすぎる傾向をやめ、いまだし日本には日本なりの新しい様式を考えるとときが、来ているのでなかろうか。少い費用をいかに建物の美しさに生かすか、新しい様式を見出すため出発点に立つた気持で研究を続けたい。いまでは神戸の建物もそれぞれの時代を生かしてはいるが、中には都市の美観をそこねるものも出てくる。われわれは神戸が日本の表玄関として恥じないだけの建築美を新しくつくらねばならぬ。



池田谷久吉氏

正 会 員 池 田 谷 久 吉 氏

昭和四年以来大阪府古文化調査委員として専ら大阪府の古建築を主として、史蹟、名勝、天然記念物の調査に当り、その中、価値高きものは国宝に、重要文化財にまた重要美術品の指定に努め、之が顕彰保存の途を調すべく努めて来た事に対して文化の日に社会教育上功績に対して大阪府教育委員会より表彰を受けられ、更に泉佐野市より「泉佐野史談会」の主宰者としても受けられた。

その日の氏の言葉

思ひ出は走馬燈のようです、戦時中なども金属であれば鋳つおして戦具にしようという軍閥、官憲と身をもつて闘い、幾多の文化財を護らねばならなかつた。そして今日のような時代を迎えたが、まだ世間の古文化財保存に関する関心は十分とはいえない、私は各種多様の古建築の復興、修理に及ばすながら尽力して来たが、最近では現枚方市の百済寺、成田不動香里園別院、東大寺本坊、平野大念仏寺本坊などがある。

(昭和27年度)

30

同 塚本喜八郎
同 鳥田家弘
同 中村綱
同 藤阪捨治郎
同 前野慶太郎
同 三木栄逸
出版委員会
委員長 谷口尙武
委員 井戸田重太郎
同 五百蔵芳明
同 上林博雄
同 木村精一
同 北原武夫
同 小西岬
同 小林清暢
同 斉藤

同 徳永正三
同 七尾健三
同 馬場善雄
同 宮脇和正
同 村島彰
建築法規委員会
委員長 中沢誠一郎
委員 伊東五郎
同 桐本楠雅三
同 東畑謙三
同 中西六郎
同 中野順次郎
同 坂静雄
同 稗田治
同 吉田安三郎
同 鷺尾健三

災害調査委員会
委員長 池田宮彦
委員 五百蔵芳明
同 池上勝郎
同 堯天義久
同 栗本栄一
同 小泉昇
同 竹内佐平治
同 塚本猛次雄
同 益尾辰雄
建材審査委員会
委員長 置塩章
副委員長 岡田孝男
委員 奥島正一
同 加藤宣彦
同 栗本栄一

同 榊弘美
同 菅田豊重
同 竹内成夫
同 竹内孝造
同 竹腰健造
同 中野順次郎
同 称屋毅一
同 日野勝好
同 布施忠司
同 藤井稔
同 真口恒夫
同 毛利泰三
同 森忠一

創立35年記念事業委員会委員

(昭和27年度)

委員会
委員長 東畑謙三
副委員長 大林芳郎
同 中野順次郎
総務部会
部長 中野順次郎
委員 青木友一
同 浅海治平
同 池田達雄
同 小林清夫
同 斉藤光夫
同 日野勝好
同 藤木正一
同 政岡基次
慰霊祭部会
部長 中西六郎
副部長 政岡基次
委員 青木友一
同 池田静
同 池田達雄
同 鳥村佐次郎
同 白井正朔
同 須賀豊治郎
同 高橋勝雄
同 前田善助
同 牧村利彦
同 松井邦彦
同 南長吉

表彰部会
部長 池田宮彦
副部長 城口亀吉
委員 井上福蔵
同 鳥村佐次郎
同 銭高輝之
同 中野順次郎
同 藪中一良
同 山本深
同 山本竜太郎
祝賀部会
部長 鈴木末尾
副部長 日野勝好
委員 井場績
同 池田達雄
同 糸井直太郎
同 石丸正名
同 久保幸一
同 栗原信虎
同 角田義雄
同 伴秀雄
同 吉川清一
住宅展部会
部長 吉田安三郎
委員 青木友一
同 浅海治平
同 浅沼猪之吉
同 井上福蔵

同 伊豆倉武一
同 遠藤洋吉
同 鍵仲尊雄
同 河合貞一郎
同 桐本楠雅
同 標田藤郎
同 鴻池藤一
同 菅谷三郎
同 鈴木末尾
同 竹内佐平治
同 竹中鍊一
同 塚本喜八郎
同 藤木正一
同 前野慶太郎
同 松村雄吉
同 宮脇和正
同 元吉勇太郎
講演講習部会
部長 伊東五郎

委員 栗林一馬
同 栗本栄一
同 小林清三
同 白石博三
同 竹内孝
同 谷口尙武
同 伴深
同 日野勝好
同 松井清之助
同 山内嘉兵衛
同 吉田信武
見学部会
部長 松本儀八
副部長 山本深
委員 青木友一
同 石井一信
同 奥村太平
同 笠原梯治郎
同 布谷道雄



床の清掃維持方法に就ての
(9月0日建築会館に於ける講演要旨)
プリント御希望者はお申込下さい

家屋の艶出

清掃作業も
御月受します

ケントク
Kentoku

大阪・北区櫻橋(産経ビル前) KK ケントク
東京・神田小川町1(三勢ビル) 東京ケントク
名古屋・藤前 江町2ノ1 KK ケントク

同	小早川美武	同	池田宮彦	同	山本武雄	同	齊藤光夫
同	竹内孝	同	栗本栄一	同(地質図表事項囑託)		同	妹尾一夫
同	宮谷芳夫	同	小林清		井上 晃	同	堤耕作
同	村田経政	同	榎弘美	資金部会		同	日野勝好
出版部会		同	作間日出生	部長	東畑謙三	同	藤木正一
部長	尾崎久助	同	谷口尙武	委員	青木友一	同	山邑励二
副部長	竹内成夫	同	村田経政	同	浅海治平	同	山本武雄
委員	青木友一	同	藪中一良	同	尾崎久助	同	吉田安三郎

昭和26年度決算並に昭和27年度予算

昭和28年1月29日開会の通常総会に於て標記予算並に決算下記の通り夫々承認相成りました。
 追而 27年度予算案は昭和27年3月開催の評議員会に於し議決されたものであります。

昭和26年度決算並収支内訳表

収入之部

科 目	予 算 額	実 収 入 額	差引過不足
会 費	3,520,000	3,175,741	△ 344,259
雑誌収入	1,690,000	2,374,260	684,260
雑 収 入	101,000	158,162	57,162
後援会費	104,000	107,000	3,000
計	5,415,000	5,815,163	400,163

支 出 之 部

科 目	予 算 額	実 支 出 額	差引過不足
事務所費	470,000	527,657	△ 57,657
議 費	50,000	58,302	△ 8,302
事業費	2,550,000	3,162,098	△ 612,098
事務費	693,000	651,441	△ 41,558
諸 給	1,200,000	1,227,900	△ 27,900
準備金	52,000	52,000	0
予 備 費	400,000	70,040	329,960
計	5,415,000	5,749,439	△ 334,439

自 昭和 26 年 4 月 1 日

収 入 総 合 計 ￥ 5,815,163.67

至 昭和 27 年 3 月 31 日

支 出 総 合 計 ￥ 5,749,439.44

差 引 残 ￥ 65,724.24

貸 借 対 照 表

自 昭和 26 年 4 月 1 日

至 昭和 27 年 3 月 31 日

借 方 之 部		貸 方 之 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
備 品	60,939	基 本 金	47,672
仮 払 金	62,858	職員退職手当準備金	99,536
諸 準備引当預金	147,000	事 業 準 備 金	41,276
振 替 貯 金	227,998	備 品 償 却 準 備 金	10,066
当 座 預 金	38,945	欠 損 補 填 準 備 金	40,009
現 金	17,216	仮 受 金	3,830
敷 金	231,192	未 払 金	159,033
前 年 度 収 支 勘 定	1,952	請 負 規 程 頒 布 勘 定	25,041
計	788,101	未 経 過 収 入 金	295,891
		本 年 度 収 支 勘 定	65,724
		計	788,101

今期収支差引残 ￥ 65,724.23 也は下記の通り処理

前記収支不足金補填 ￥ 1,952.05 職員退職手当準備金 ￥ 50,000.00 事業準備金 ￥ 13,772.18

財 産 目 録

昭和 27 年 3 月 31 日 現在

資 産 之 部		負 債 之 部	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
固 定 資 産	円 60,939	引 当 勘 定	円 190,879
備 品	60,939	職員退職手当準備金	99,536
流 動 資 産	431,160	事 業 準 備 金	41,276
当座預金	38,945	備品消却準備金	10,066
三和銀行	2,356	収入缺損補填準備金	40,000
大和銀行	36,588	雑 勘 定	458,784
定期預金	147,000	仮 受 金	3,860
諸準備引当預金	147,000	京 都 支 部	2,900
振替貯金（本日現在高）	227,998	日産建設KK	960
現 金（ ）	17,216	未 払 金	159,033
雑 勘 定	294,050	大阪建設会館(3月分借室料)	15,033
仮 払 金	62,858	研文社払分	28,000
卅五年記念事業一時立替金	61,858	建材審査委員26年度車代	21,000
朝日ビル釣銭事務局用	1,000	支 部 交 附 金	95,000
敷 金	231,192	兵庫支部	30,000
朝日ビル借室敷金	231,192	東海支部	35,000
		九州支部	30,000
		未 經 過 収 入 金	295,891
		会 員 1 号	38,211
		〃 2 号	36,500
		地 方 会 員	6,170
		准 会 員	2,250
		広 告 料	212,760
		負 債 合 計	649,663
		資 産 合 計	786,149
資 産 合 計	783,149	差 引 純 財 産	136,485

昭和二十七年度収支予算

(収入之部)

款	二十六年度 参 考	二十七年度 予 算	科 目	二十六年度 参 考	二十七年度 予 算
	千円	千円		千円	千円
会 費	3,520	3,500	個 人 会 費	2,000	1,800
			団 体 会 費	1,300	1,500
			地 方 〃	130	140
			准 〃	90	60
雑 話 収 入	1,690	2,600	広 告 料	1,690	2,600
雑 収 入	101	128	入 会 金	50	18
			会 員 章	5	10
			雑 収 入	46	100
後 援 会 費	104	132	後 援 会 費	104	132
合 計	5,415	6,360	合 計	5,415	6,360

(支出之部)

款	二十六年度 参	二十七年度 予	項	二十六年度 参	二十七年度 予
事務所費	470	605	朝日ビル 建設会館	300 170	428 177
会議費	50	150	総務 役員会	50	150
事業費	2,570	3,071	雑誌発行費 部会費 事業費 支部費	1,850 100 370 250	2,550 124 47 350
事務費	595	500	備品費 通信費 旅費 集金費 印刷費 文房具費 雑費	10 90 140 250 30 25 50	10 80 120 170 50 30 40
諸給与	1,200	1,350	給料手当 賞与	1,100 100	1,200 150
準備金	52	52	準備金	52	52
諸賦課金	78	82	一般賦課金 建康保険 失業保険	60 18	10 60 12
予備費	400	550	予備費	400	550
合計	5,415	6,360	合計	5,415	6,600

内海町町章圖案懸賞募集当選発表

一等 予而募集中の標記の件、締切迄に応募されたもの 692 通、審査の結果下記の通入選決定いたしました。尙多数応募された各位に謝意を表します。

1 等 賞 金 ￥ 10,000

2 等 賞 金 ￥ 5,000

〃 〃 〃

佳作 〃 ￥ 2,000

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

岡 林 秀 郎 氏 神 戸 市
山 口 正 夫 氏 大 牟 田 市
宇 津 木 松 二 氏 東 京 都
岡 林 秀 郎 氏 神 戸 市
田 中 正 氏 東 京 都
中 西 清 敏 氏 高 松 市
中 村 阿 岐 雄 氏 一 宮 市
平 松 曉 氏 熊 本 市

日 本 建 築 協 会

審 査 概 評

1 等 新しさと云おうか懸新感がある。洗練されていて構成に欠点がなく、すぐれた図案であるが、見た丈で内海町の感じ、即ち直

感がこないうらみがあるのが残念である。

2 等 (イ) 着想が面白く簡明な表現である。

図案的にはいま少しく工夫する必要がある。線を細くするとよいと思う。今一步研究される余

(35頁下段に続く)

名 譽 正 会 員 推 挙

昭和28年1月29日開会の通常総会に於て下記会員を名誉正会員に推挙することに議決されました。

石 田 信 夫 君
佐 藤 四 郎 君

今 林 彦 太 郎 君
長 谷 部 鋭 吉 君

昭 和 28 年 度 監 事 評 議 員 当 選

昭和28年1月29日開会の通常総会に於て監事並びに評議員の半数改選による選挙を執行いたしました結果下記の通り夫々当選されました。

監 事 (1名)

当 選 580 票 田 辺 信 君

評 議 員 (26名)

当 選	230 票	榊 弘 美 君	同	223 票	加 藤 宣 彦 君
同	228 票	奥 山 清 治 郎 君	同	223 票	西 嶋 徳 太 郎 君
同	227 票	藤 井 信 一 君	同	223 票	若 木 望 太 郎 君
同	226 票	小 栗 賛 吾 君	同	221 票	田 村 巍 君
同	225 票	小 西 岬 君	同	219 票	高 橋 勝 雄 君
同	225 票	西 沢 藤 生 君	同	218 票	工 藤 寿 男 君
同	225 票	林 野 全 孝 君	同	218 票	高 橋 芳 夫 君
同	225 票	政 岡 基 次 君	同	218 票	福 田 乙 二 君
同	224 票	遠 藤 洋 吉 君	同	217 票	石 田 憲 二 君
同	224 票	木 村 精 一 君	同	217 票	駒 敬 三 君
同	224 票	鈴 木 末 尾 君	同	216 票	井 上 民 治 君
同	224 票	山 口 吾 郎 君	同	216 票	今 村 騰 君
同	223 票	今 西 茂 雄 君	同	215 票	鈴 木 清 市 君

評 議 員 補 欠 (1名)

当 選 439 票 山 内 茂 君

以 上

昭 和 28 年 3 月 1 日

社 団 法 人 日 本 建 築 協 会

(34頁より続く)

地があるけれど、良い作品である。

2等(ロ)ある程度、内海町の感じが出ている。図案の表現が力強い。然し、内の文字と鳥の表現に何にかしら、もう一息といった感じた。

佳 作(全部)着想の良いと思つたので全部佳作として選んだ。

審 査 員 矢野橋村、森田慶一、渡辺賢一、中野順次郎
谷口栄、照下源蔵、今井豊吉、佐伯豊

No. 1

数年来本会朝日ビル六階会議室の蔵書を整備し広く会員に閲覧を願っているが、皆様の図書室として協会にどのような書籍があるかと云う事を常に皆様に知って頂き度いと思い、ここに収書通報の如く、余白がある度びに掲載し御手もとに与することにした。

間仕切・天井
には軽量鉄骨
を・軽量鉄骨
は日進式を御
採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工

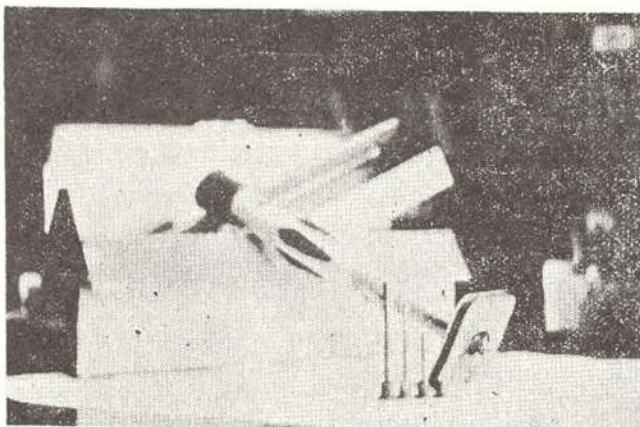
株
会社
奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町三一番地
電話堀川(33)四一六四番

伊藤幸太郎編	関西建築協会雑誌	上	大正6年	関西建築協会	A0.51	K1 1(a)
"	"	"	"	"	"	K1 1(b)
"	"	下	大正7年	"	"	K1 2(a)
"	"	"	"	"	"	K1 2(b)
"	日本建築協会雑誌	上	大正8年	日本建築協会	"	K1 3-1(a)
"	"	"	"	"	"	K1 3-1(b)
"	"	下	"	"	"	K1 3-2(a)
"	"	"	"	"	"	K1 3-2(b)
"	建築と社会	上	大正9年	"	"	K1 4-1(a)
"	"	"	"	"	"	K1 4-1(b)
江村恒一編	"	下	"	"	"	K1 4-2(a)
"	"	"	"	"	"	K1 4-2(b)

(つゞく)

「ドライブイット」に就て

日 野 勝 好



ドライブイットとケース

鋼材と鋼材の結合工事や、コンクリート構造体への取付工事に極微量の火薬の爆発力を巧く利用して驚嘆すべき仕事を行い得る器械が「ドライブイット」である。製造所名で、多小名称も異つている。これは、コンクリート、又は鋼材中に非常な高速度をもつて「ドライブピン」(特殊釘)を打ち込み、その表面上に鋼製、木製等の建設資材設備、器具類を瞬間的に同着させる事が出来る。又現場打ちコンクリートの強度の制定にも或る程度利用出来る。これは予備実験として予め圧縮強度の判明した数個のテストピースに対して実験を行つたが、或る程度の予想が出来た。この「ドライブ、イット」の操作は至極簡単で何等の熟練性を要せず、安全装置を有し、作業は容易である。

火薬量は一定のケースに入り(0.3グラム以下の微量)一種類で、パワープラグの使い分けによつて、スーパー

イ、メディアム、ロウの4種類がある。「ドライブピン」の径によつて「300」、「400」に別けられ、ピンは何れも特殊鋼で出来ている。(引張強度 170kg/mm²、剪断力100kg/mm²)使用目的に応じて、長さ、径の異なるピンを選定すべきである。現在米国では殆んどの工事に利用されているらしく、吾国でも先覚者によつて多少利用されている。今後の利用は拡大されるものと信じている。只火薬を利用する点で銃火器の適法が多少厄介と思う。米国辺りでは有利かつ安全なる施行器械であるとの推薦がある様である。兎に角く在来工法の木煉瓦埋込や、ジャンピングによる穿孔作業の必要もなく、水平、垂直は勿論傾斜面への造作材料等の取付け工事法に於いて一大革命がもたらされる事と思う。ピン1本100円位要す点が問題となるが、作業は1分間に1個の取付けが出来来るスピーディで、充分補い得るものであろう。更に僅かの貫入深さであるが、相当固着力がある事は認められる。利用面の今後拡大する事は問題であるまい。取扱いの軽便性、安全性、施工の迅速性に就ては高く評価出来る。 (筆者 株式会社竹中工務店技師長)

コンクリートの釘打機

ドライブイット

関西販売店

阪部興業株式会社大阪営業所

大阪市北区老松町3丁目48
堀川 ☎ 7595・3616

ドライブイットの販売店は大阪では朝日機材株式会社大阪支店と阪部興業株式会社の二社がある。

係より



誌を作る人々

(プロフィール)

田中良太郎氏

編輯後記

毎号此の欄で詫言を述べていたのでは何とも申し訳ないが、本号もどうも物足りない気持である。頂いた玉稿は何れも独特の、示唆に富んだ貴重な読物として、執筆せられた方々に感謝する次第であるが、全体としてやはり頁数が寂しい。本誌は機関誌であるから、他の商業雑誌と自ら性質が違ふし又同じような編輯方針ではとても太刀打出来ないが、予算の組方を変更してもらつても、もう少し費用を出してもらつて、頁数を増し、「読む雑誌」として、もつと会員諸兄に貢献したいものである。雑誌の発刊は金会員に一樣にサービス出来る唯一の事業であるから。

私は以前に或る協会の雑誌を編輯していた事があつたが、原稿が沢山ある時は非常に楽であつたし、配列に自由がきくので全体として所謂「良い編輯」が出来たように思つてゐる。これは編輯者側の依頼原稿、会員からの要望原稿ばかりでなく、会員の寄稿にまつ処が甚だ多いのである。会員相互の執筆の道場として、研究・思索・感想・随筆・趣味等あらゆる分野にわたつて利用される事が一番望ましいのでなからうか。幸にして、職域も、こんなに広い範囲にわたつて集められている団体は少ないのであるから、会員諸兄の寄稿が集まりさえすれば面白い雑誌が出来るように思えてならない。

最近では学会を初め色々の団体があつて、夫々の性格で活動が行われている。時には本協会の本来の使命と混交すると思われる節もあつたが、日を経るに従つて、次第に、或は再び判つきりと格付けされつつあるようである。しかし「本協会本来の使命」なるものが、実は甚だおろかしい事ではあるが、筆者にはどうも判然としない処がある。否明確に説明し難い処がある。こんな事を云うと折角今日迄育成して来られた先輩諸家に叱られる事必定であるが、組織が非常に大きい事と、会費の関係でもあるのか、若い人がどしどし入会してくれていないと云うのが筆者の把握しかつない理由である。組織が大きくなると簡単には集まらないからどうしても機関誌を中心として会員相互の協力を計らねばならないと思う。何卒

積極的な御協力をお願いする次第である。機関紙さえ豊富な内容になつてくれるなら、筆者のおろかしい前言を取消すつもりである。

新しく大勢の若い人が学窓を巣立つ、夫々の職場がもはや得られたであろうか？ 建築と云ふ事業の向上をめざす意味に於て夫々の職場を整備按配せられ（人を減らす事ばかりが合理化ではないと思われる）一人でも多く新しい卒業生を受入れられて、若い人を喜ばして頂き度いと、筆者も教師の一人として会員にお願いしておく。では次の後記はペンリレーとして山本編集理事にお願いいたします。
(田中編集委員記)

人を求む

- (1) ○求人先 市内、某建築金物製作所
○資格 官公、事務所、学校等建築関係に勤務経験のある方
○勤務 自由勤務とし建築金物新考案に参画し併せて官公庁、設計事務所等宣伝
○待遇 嘱託とし報酬面談の上決定
- (2) 日本建築協会にて本年度中発行予定の建設資料便覧編集事務を嘱託したし、御心当りの方御幹旋願いたし、委細面談

以上 御連絡、履歴書送附先 東区天神橋詰建設会館内
分会分室、事務局長宛

昭和28年2月20日

日本建築協会

建築と社会 第34輯 第3号

売価 1部80円(送料共)

昭和28年2月25日印刷・昭和28年3月1日発行

編集発行人 沖 田 誠 一

発行所 社団法人 日本建築協会

大阪市北区中ノ島3ノ3朝日ビル

電話 北 浜 ㊤ 1334~9 番

振替口座大阪39975番

大阪市北区堂山町66

印刷者 網 野 栄

大阪市北区堂山町66

印刷所 株式会社 研文社(電話豊崎2056番)

建築寫眞

ユニヴァース写真工芸社

森 庄 次 郎

大阪市南区笠屋町4番地

(低周防町三休橋筋角)

電話 南 ㊤ 0240 番

●第三四集 第三号 掲載広告一覽 (掲載順)

サンエナメル工業
満点製作所
日本ドアーチエック製造
岩住鉄工所
日本耐火建材
伊奈製陶
協和製作所
田中工業
久保商店
大阪城口研究所
大阪電気商会
桐田商会
齊久工業
三機工業
須賀工業
西原衛生工業所
建材社
栄興商会
三晃商会
第一工業
大嘉熱工業
近畿電気工事

浅海電気産業
立花商会
中央電気工業
水島商店
矢橋大理石商店
利倉幸商店
明正社
三和アスファルト化工
高野アスファルト
関城化学工業所
黒川化学工業所
林塗装店
田中風呂製作所
永島敬通
三舟窯業
大島応用化学工業
吉田芳雄商店
三幸商会
佐村木商店
大阪コンベス建材社
三高製作所
鈴木シヤタア商会

前沢商行
大同鑄造
福島産建工業
昭和鋼機
谷山鉄工所
東京鋼板工業
豊国建材店
大仏組
檜野石灰工業
ナニワ瓦
シフカー工業所
大阪建材工業
日本金具製作所
室谷商店
東邦商会
宮本建材
田村商会
川岸窯業
尾北商店
不二製作所
田島応用化工
三星タイル会
藤森工業
日本サッシュ

ケーアールゴム
玉置産業
岩元工業
井上浄夫商店
亀井
杉田組協栄
長岡鉄筋コンクリート
やよひスレート
大正鉄筋コンクリート
福屋工業所
内外土木建材社
浪速建材工業
平田タイル
油脂化工社
木下謹三商店
大建工業
日本セメント防水剤製造所
朝日石綿工業
宇部スレート工業